

# 国語

## 四

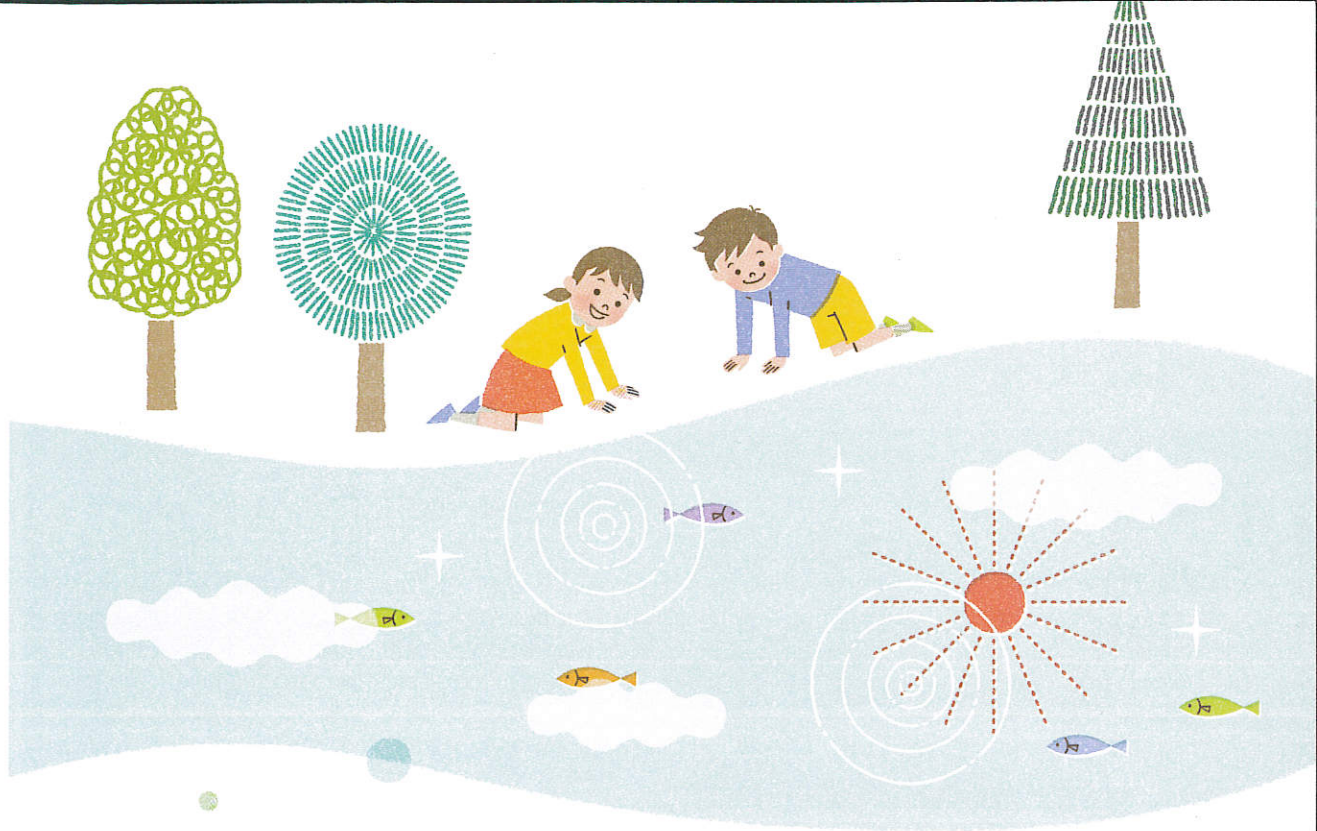
### 上

かがやき



光村図書





## この本で学習するみなさんへ

この本では、次の印が使われています。



話したり聞いたりしましょう。



書きましょう。



読みましょう。



言葉の学習をしましょう。



覚えておきましょう。他の学習や生活の中でも役に立ちます。



国語の学習に用いる言葉をたしかめましょう。



学習を進めるときに気をつけることなどをまとめています。



音声を聞いて、学習しましょう。



学習に関係のあるページをしめています。

### 文字や言葉の印

- 新しく学習する漢字。
- 読み方が新しい漢字。  
音はかたかなで、訓は平がなでしめしてあります。
- ◆ 特別な読み方をする言葉。

▲ 読み方に気をつけるかたかな。



この印があるところには、学習の助けとなる資料があります。読み取るときには、必ず、先生やおうちの方と一緒に行いましょう。



# 国語

四

上

かがやき



雲がかがやいている。

林の上で。

みんなのほおもかがやいている。

湖のほとりで。

あ、今、太陽が

山をはなれた。



# 目次

四年生の国語の学びを見わたそう

④ じょうほう 分ける・くらべる

② こんなどころが同じだね 話す・聞く

② 春のうた 草野 心平 読む

つづけてみよう

① 場面と場面をつなげて、考えたことを話そう 読む

白いぼうし あまん きみこ

本は友達 図書館の達人になろう

言葉 漢字の組み立て

言葉 漢字辞典の使い方

聞き取りメモのくふう 話す・聞く

コラム 話し方や聞き方から伝わること

② 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう 読む

〈練習〉 思いやりのデザイン 木村 博之

アップとルーズで伝える 中谷 日出

④ じょうほう 考えと例

カンジーはかせの都道府県の旅 1

お礼の気持ちを伝えよう 書く

62 60 59 50 47 44 40 34 32 30 15 14 12 10 9 4







③ 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう  
**一つの花** 今西 祐行 ..... **読む**

**言葉** つなぎ言葉のはたらきを知ろう

短歌・俳句に親しもう (一) .....

**じょうほう** 要約するとき .....

**新聞を作ろう** 書く .....

**コラム** アンケート調査のしかた .....

カンジーはかせの都道府県の旅 2 .....

**本は友達**

事実にもとづいて書かれた本を読もう .....

ランドセルは海をこえて 内堀 タケシ .....

詩を味わおう **読む**

忘れもの / ぼくは川 .....

**あなたなら、どう言う** **話す・聞く** .....

**パンフレットを読もう** **読む** .....

**言葉** いろいろな意味をもつ言葉 .....

きせつの言葉 春 38 夏 100

漢字の広場

① 46  
 ② 66  
 ③ 126

**付録** 学習を広げよう

「たいせつ」のまとめ .....

課題の見つけ方、調べ方 .....

げんこう用紙の使い方 .....

ローマ字の表 .....

本の世界を広げよう .....

山ねこ、おことわり .....

これまでに習った漢字 .....

この本で習う漢字 .....

言葉のたから箱 .....

157 152 146 140 137 136 134 132 128





# 国語の学びを 見わたそう

これから国語の学習が始まります。  
みんなで考え、学びを深めていくために、  
学習の進め方と、四年生で学ぶことをたしかめましょう。

## 学習の進め方

はじめに

「やってみたい。」  
「どうしたらいいかな。」  
「どうして——だろう。」



読む

書く

話す・聞く



ふりかえる

「——が分かった。」「分からない。」  
「知っている言葉がふえた。」  
「もっとよく考えてみたい。」



学習や生活にいかす

「——のときに、  
いかすことができそう。」  
「この言葉を使ってみよう。」





四年生で学ぶことをたしかめたり、学習したことをふり返ったりして、言葉の力を高めていきましょう。

こんなところが同じだね ..... 10

聞き取りメモのくふう ..... 40

聞きながらメモを取るときは ..... 40

あなたなら、どう言う ..... 118

かじよう書き

要点

- 下
- クラスみんなで決めるには
  - 役わりをいしきしながら話し合う
  - 調べて話そう、生活調査隊
  - 調べたことを発表する
- 議題

お礼の気持ちを伝えよう ..... 62

手紙で気持ちを伝える ..... 62

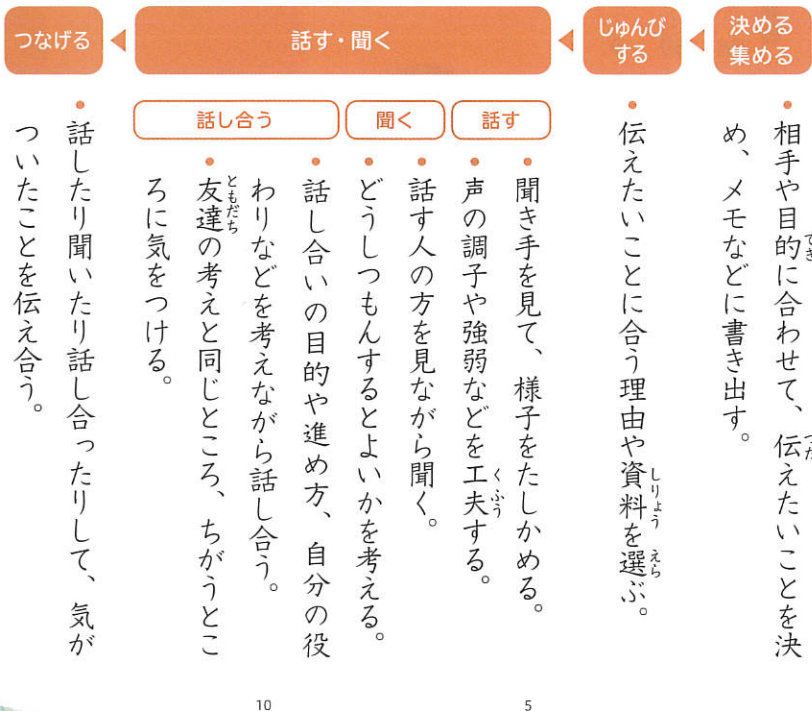
新聞を作ろう ..... 88



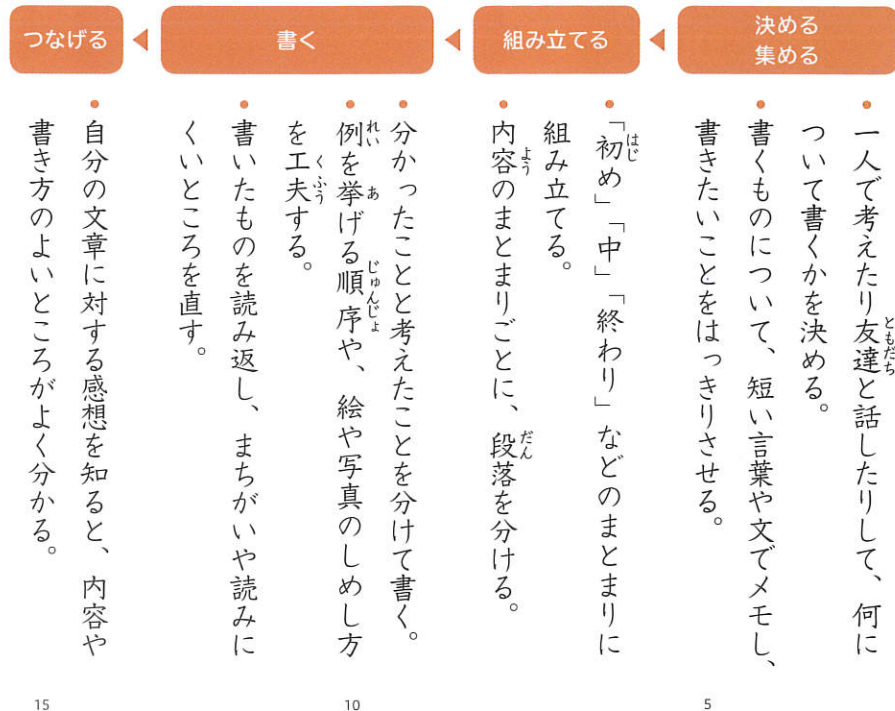
見出し 取材 わりつけ アンケート調査

- 下
- 伝統工芸のよさを伝えよう
  - 理由や例を挙げて考えを伝える
  - 感動を言葉に
  - 読み返して、書いたものを整える
  - もしものときにそなえよう
  - 文章の感想を伝え合う
- 出典

三年生の学びをたしかめよう



三年生の学びをたしかめよう





説明する文章

思いやりのデザイン ..... 47

アップとルーズで伝える ..... 50

✎ 筆者の考えをとらえる

パンフレットを読もう ..... 120

対比

世界にはこる和紙  
要約する

下  
ウナギのなぞを追って

✎ 感じ方のちがいに気づき、よさを見つける

三年生の学びをたしかめよう

説明する文章

- ・ 題名や「初め」から、話題をたしかめる。

とらえる

- ・ 「中」の例と話題とのつながりや、段落の役わりを考える。

物語・詩

- ・ 登場人物のしたことや言ったこと、気持ちを表す言葉に気をつける。
- ・ 話の組み立てをとらえながら読む。

物語・詩

春のうた ..... 12

白いぼうし ..... 15

✎ 場面と場面のつながりを考える

一つの花 ..... 68

✎ 特別な言葉に着目する

設定

忘れもの ..... 114

ぼくは川

✎ 話し合って、考えを深める

✎ 登場人物の変化と、出来事の関係をとらえる

✎ 自分だけの詩集を作ろう

✎ 初雪のふる日

✎ 感じ方のちがいを楽しむ

情景

ひろげる

まとめる

ふかめる

とらえる

説明する文章

- ・ 大事な言葉や文が何かを考える。
- ・ 例を挙げる順序や写真の使い方など、筆者の例の書き方に気をつける。

物語・詩

- ・ 登場人物の会話や行動などから、せいかくをとらえる。
- ・ 出来事が起こる前と後とで、登場人物がどう変わったかを考える。

- ・ 書かれていることと、自分の知っていることなどをつなげて、感想や考えをまとめる。
- ・ 読んだ感想を伝え合うときには、自分の考えと同じところやちがうところに着目して聞く。

言葉 

言葉の使い方

漢字の組み立て ..... 32

漢字辞典の使い方 ..... 34

カンジーはかせの

都道府県の旅 1 ..... 60

2 ..... 98

つなぎ言葉の

はたらきを知ろう ..... 81

いろいろな意味を

もつ言葉 ..... 124

漢字の広場 ①〜③

漢字の広場 ④〜⑥

じょうほう

分けるくらべる ..... 9

考えと例 ..... 59

要約するとき ..... 86

要約

下  
分ける・くらべる

百科事典での調べ方

受けつがれる言葉

短歌・俳句に親しもう (一) ..... 84

させつ言葉

春・夏

下  
慣用句

短歌・俳句に親しもう (二)

季節の言葉 秋・冬

読書

図書館の達人になろう ..... 30

事実にもとづいて書かれた本を読もう

事実にもとづいて書かれた本を読む

ランドセルは海をこえて ..... 107

107



じょうほう

考えるときに使おう

# 分ける・くらべる

## 分ける

なかま分けをすると、たくさん  
さんの物事や考えを整理する  
ことができるよ。



休み時間をよりよくすごすには

自分たちでできること

あぶないの で、ろう下を 走らない。	他の学年の 人とも遊んだ ほうがいい。
--------------------------	---------------------------

先生に相談すること

ボールがもつ とほしい。	体育館を使 う学年を決め たほうがいい。
-----------------	----------------------------

まとめりごとの  
名前

ふせんやカード  
に書き出した  
考え

5

「アンケート調査のしかた」  
97ページ  
「課題の見つけ方、調べ方」  
133ページ

## くらべる

くらべると、物事や  
考えの何が同じで、何  
がちがうかが整理でき  
るよ。

発表会で何をするか

じゅんぴ	役わり	げき	がっしょう
<ul style="list-style-type: none"> <li>・台本を作る。</li> <li>・いししょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がさんかする。</li> <li>・それぞれちがう役をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がさんかする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がさんかする。</li> <li>・みんなでいっしょに歌う。</li> </ul>

くらべる  
物事

どんな点を  
くらべるか

5

「一つの花」  
78ページ







# こんなところが 同じだね

友だちと同じだと思うところは  
ありますか。二人一組やグルー  
プで、共通点をさがしましょう。

知ってうれしくなる

共通点が見つけれられる

といいですね。

5



**1** 二人一組になり、二分間で  
共通点をさがそう。

わたしの筆箱の色と、  
木村さんのシャツの色は、  
同じ色だね。



本当だ。二人とも赤い色  
のものを持っている。



すきなものや起きる時間など、見え  
ないものにも注目してみましよう。

朝からの行動を  
ふり返ってみようよ。



いいね。原田さんは  
何時に起きたの。



**2** 二つの組で、四人グループを作  
り、五分間で、できるだけたく  
さんの共通点をさがそう。

四人に共通する  
ことは何だろう。

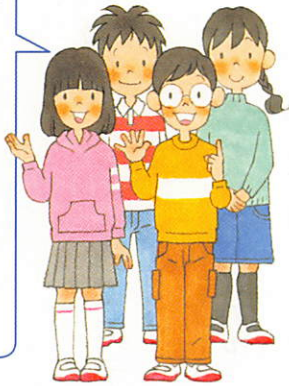


二人で見つけた  
共通点がさんこう  
にならないかな。



**3** みんなに教えたい共通点を二つ  
発表しよう。

今日、わたしたちは、全員  
六時三十分に起きました。



- 思ったことや考えたこ  
とを、せっきよくてき  
に話す。
- おたがいの共通点だけ  
でなく、ちがいも知る  
ようにする。

もつと楽しもう

- グループの人数をふやす。
- テーマを決めて、共通点  
を見つける。

- 〈れい〉テーマ「食べ物」
- 今朝、食べた物
  - すきなアイスクリーム  
の味 など

友だちとの共通点を  
知って、どのように思  
いましたか。





詩を楽しもう

# 春のうた

草野<sup>くさの</sup>心平<sup>しんぺい</sup>

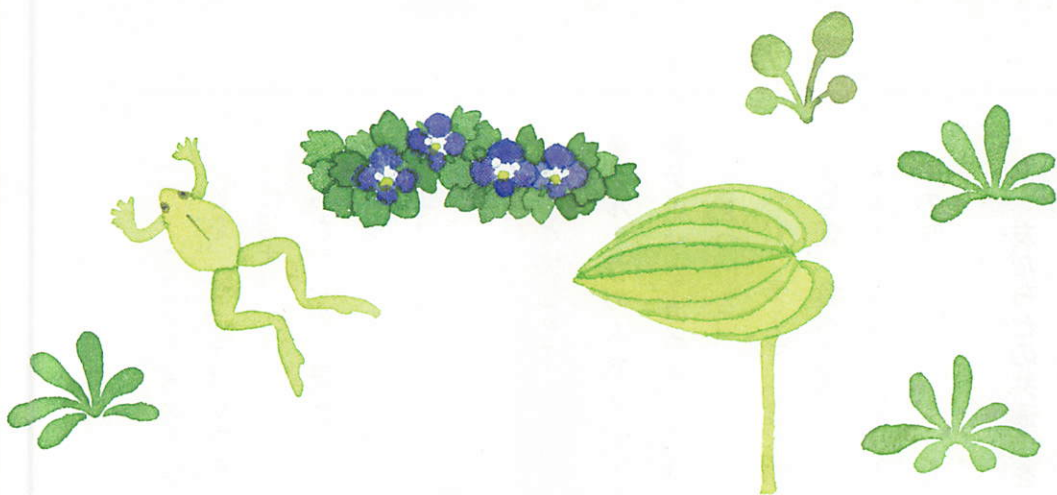
浅倉<sup>あさくら</sup>田美子<sup>たみこ</sup> 絵

かえるは冬のあいだは土の中にいて  
春になると地上に出てきます。  
そのはじめての日のうた。

ほっ まぶしいな。  
ほっ うれしいな。

みずは つるつる。  
かぜは そよそよ。

5



ケルルン クック。  
ああいにおいだ。  
ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。  
ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。  
ケルルン クック。

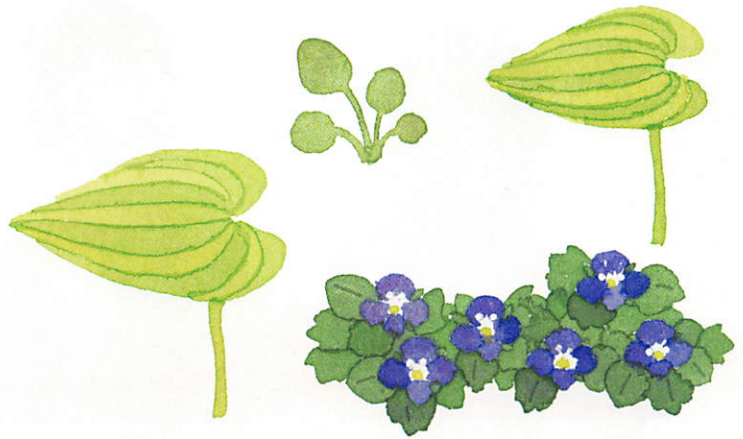
学習

● 場面の様子を思いうかべたり、かえるの気持ち  
を想像したりしながら、音読しましょう。友だちと音読  
を聞き合い、感想をつたえ合ってもいいですね。

10

この本、読もう

おどる詩 あそぶ詩  
きこえる詩





つづけてみよう

## 国語辞典じてんに

### 親しもう

国語辞典を使うと、知っている言葉や使える言葉がふえます。いろいろな場面で使ってみましょう。

● 知らない言葉に出会ったとき

● 文章を見直すとき

国語辞典を使って、クイズを楽しむこともできます。

「なるほど。」と思った言葉と、その意味は、ノートに書きとめておくとよいでしょう。

国語辞典を使ったクイズ

① クイズを出す人は、国語辞典を見て、よく知っている言葉を一つえらぶ。

② 答える人は、その言葉が国語辞典でどうせつめいされているかを予想する。

③ 国語辞典に書かれていることを、二人でたしかめる。

「いす」は、どうせつめいされているでしょうか。

「すわる場所」だと、ちがうかな。他のところにするものもあるから――。





場面と場面をつなげて、  
考えたことを話そう

# 白いぼうし

「白いぼうし」には、タクシー運転手の「松井さん」という人物が出てきます。「松井さん」に、いったいどんな出来事が起こるのでしょうか。

これまでの学習



三年生の学びをたしかめよう  
(物語・詩).....

7ページ





# 白いぼうし

あまん きみこ 作

こころ 美保子 絵

「これは、レモンのにおいですか。」

ほりばたで乗せたお客のしんしが、

話しかけました。

「いいえ、夏みかんですよ。」

信号が赤なので、ブレーキをかけて

から、運転手の松井さんは、にこに

こして答えました。

今日は、六月のはじめ。



夏がいきなり始まったような暑い日です。松井さんもお客も、白いワイシャツのそでを、うでまでたくし上げていました。

「ほう、夏みかんでのは、こんなにおうものですか。」

「もぎたてなのです。きのう、いなかのおふくろが、速達で送ってくれました。においまでわたしにとどけたかったのでしよう。」

「ほう、ほう。」

「あまりうれしかったので、いちばん大きいのを、この車にのせてきたのですよ。」

信号が青にかわると、たくさん車がいつせいに走りだしました。

その大通りを曲がって、細いうら通りに入った所で、しんしはおりていきました。



アクセルをふもうとしたとき、松井さんは、はっとしました。「おや、車道のアんなすぐそばに、小さなぼうしが落ちていゝるぞ。風がもうひとふきすれば、車がひいてしまふわい。」

緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちよこんとおいてあります。松井さんは車から出ました。

そして、ぼうしをつまみ上げたたん、ふわっと何かが飛び出しました。

「あれっ。」

もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。そんな松井さんの目の前を、ちようは

10

5



と飛び出す

ひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなつてしまいました。

「ははあ、わざわざここにおいたんだな。ぼうしのうらに、赤いししゅう糸で、小さくぬい取りがしてあります。

「たけやまようちえん たけの たけお」

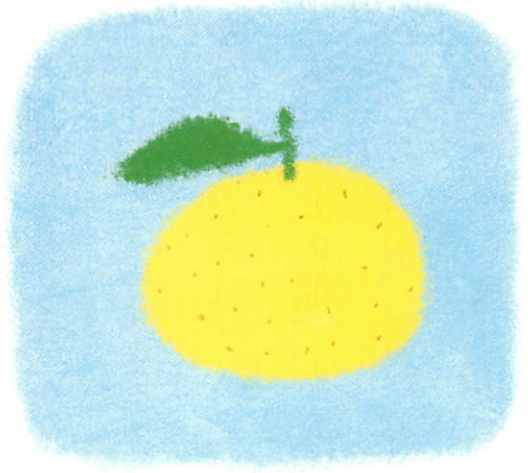
小さなぼうしをつかんで、ため息をついている松井さんの横を、太ったおまわりさんが、じろじろ見ながら通りすぎました。

「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、どんなにかっかりするだろう。」

ちよつとの間、かたをすぼめてつつ立っていた松井さんは、何を思いついたのか、急いで車にもどりました。

運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。まるで、あたたかい





日の光をそのままそめつけたような、見事な色でした。すっぱい、いいにおいが、風であたりに広がりました。

松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、飛ばないように、石でつばをおさえました。

車にもどると、おかつぱのかわいい女の子が、ちよこんと後ろのシートにすわっています。

「道にまよったの。行っても行っても、四角い建物ばかりだもん。」  
つかれたような声でした。

「ええと、どちらまで。」

「え。——ええ、あの、あのね、菜の花横町ってあるかしら。」

「菜の花橋のことですね。」

エンジンをかけたとき、遠くから、元気そうな男の子の音が近づいてきました。

「あのぼうしの下さあ。お母ちゃん、本当だよ。本当のちようちよが、いたんだもん。」

水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子が、エプロンを着けたままのお母さんの手を、ぐいぐい引っぱってきます。

「ぼくが、あのぼうしを開けるよ。だから、お母ちゃんは、このあみでおさえてね。あれっ、石がのせてあらあ。」



○菜なの花



客席の女の子が、後ろから乗り出して、せかせかと言いました。

「早く、おじちゃん。早く行ってちょうだい。」

松井さんは、あわててアクセルをふみました。

やなぎのなみ木が、みるみる後ろに流れていきます。

「お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうっと開けたとき——。」と、ハンドルを回しながら、松井さんは思います。「あの子は、どんなに目を丸くしただろう。」

すると、ぽかっと口を<sup>オ</sup>の字に開けている男の子の顔が、見えてきます。「おどろいただろうな。」



まほうのみかんと思うかな。なにしろ、ちやうが  
化けたんだから——」。

「ふふふっ。」

ひとりでにわらいがこみ上げてきました。でも、  
次に、

「おや。」

松井さんはあわてました。バックミラーには、だ  
れもうつつていません。ふり返っても、だれもい  
ません。

「おかしいな。」

松井さんは車を止めて、考え考え、まどの外を見  
ました。

10

5





そこは、小さな<sup>だん</sup>団地の前の小さな野原でした。

白いちょうが、二十も三十も、いえ、もっとたくさん飛んでいました。クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています。その上を、おどるように飛んでいるちょうをぼんやり見ているうち、松井さんには、こんな声が聞こえてきました。

「よかったね。」

「よかったよ。」

「よかったね。」

「よかったよ。」

それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。

車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいがのこっています。

あまん きみこ

一九三一年、中

国に生まれる。作家。

「ひつじぐものむこうに」「ちいちゃんのかげおくり」などの作品がある。







見通しをもとう

## 場面と場面をつなげて、考えたことを話そう

- ・人物の様子を表す言葉に気をつけて、音読しましょう。
- ・それぞれの場面に書かれていることの、つながりを見つけてみましょう。

例  
友達

### とらえよう

- この物語は、一行空きによって場面が分かれていきます。場面と登場人物を整理しましょう。
- 中心となる人物と、場面ごとの登場人物。
- どの場面で、だれが、何をするか。
- 中心となる人物の様子に気をつけて、音読しましょう。
- ふしぎだと思った出来事を友達と話し、考えを深めたいことを問いの形にしましょう。
- 問いについて考えましょう。
- ふしぎだと思った出来事の、前後の場面の様子に気

1

5

10

#### 1 問いの例

- ・「女の子」は、なぜ消えてしまったのか。
- ・「松井さん」には、どうして「ちよう」の音が聞こえたのか。 など

#### 2 話し合いの例

第三場面に、「後ろから乗り出して、せかせかと」という、女の子の様子を表す言葉があるね。これは、きつと――。





## ふりかえろう

- 知る
- 読む
- つなぐ

音読するときにつけたのは、どの言葉ですか。  
 どのようにして、場面と場面のつながりを見つけましたか。  
 場面と場面のつながりが分かると、どんないいことがあると思いますか。

## ひろげよう

● 考えたことを発表しましょう。どの場面の、どんな言葉からそう考えたのかもつたえましょう。

3

10

## まとめよう

● 問いについて考えたことを、ノートにまとめましょう。

## ふかめよう

をつけて読み、問いとつながりのありそうなところを見つけましょう。色やにおいを表す言葉や、人物の様子を表す言葉にも着目しましょう。

● 問いについて考えたことを、友達と話し合いました。友達の考えを聞いてもう一度読み返したり、他の見方はないかを考えたりしましょう。

2

5

### 3 発表の例

わたしは、「女の子」が消えたのは、——からだと思います。それは、第三場面に、——と書かれていて、その前後の場面では、——。

たしかに、急いでいる様子が分かるね。その場面と、——の場面とをつなげて考えると、——。





たいせつ

場面と場面のつながりを  
考える

● 読み深めたいことは何かを、問いの形にしてはつきりさせる。

● 人物や場面の様子を表す言葉に気を付けて、場面と場面のつながりを見つける。



ふしぎな出来事が起こる物語を読むときは、出来事と、その前後のつながりに気をつけましょう。

10

5

この本、読もう

同じ人物が出てくる物語を

いくつか読むと、その人物が出会うさまざまな出来事をいっしょに楽しむことができます。そして、その人物のせいこくやみりよくがよく分かります。

同じ人物が出てくる、シリーズの本を  
読んでみましょう。



5

■ 「車のいろは空のいろ」シリーズ  
白いぼうし



春のお客さん



星のタクシー



10

ふろくの140ページには、「松井さん」が登場する「山ねこ、おことわり」というお話がのっています。



他にも、同じ人物が出てくる、シリーズの本を読んでみましょう。

■「ルドルフ」シリーズ

ねこの「ルドルフ」が登場するお話。



■「こそあどの森」シリーズ

こそあどの森の、ふしぎな家に住む人たちのお話。



本を読んだら、読書きろくをつけましょう。後から思い出すときや、もっと読みたい本をさがすときに役に立ちます。

日づけ	書名	作者・筆者
4月13日	エルマーのぼうけん	ルース=スタイルス=ガネット作 わたなべしげおやく
<p>〈ひとこと〉</p> <p>エルマーが、ぼうけんに出かけた島で、バッグに入れてきた物とちえを使って、りゅうを助けるところがわくわくした。</p> <p>(おすすめ度 ★★★)</p>		

「おすすめ度」のらんは、友達にすすめたい気持ち、★の数で表しましょう。

(★★★★ / ★★★ / ★)

信  
シン

達  
タツ

飛  
ヒ

とぶ

席  
セキ

建  
ケン

たてる

菜  
サイ

例  
レイ

たどる

# 図書館の達人になろう

ちいきの図書館では、たくさんの本から読みたい本をさがしたり、いろいろなことを調べたりすることができます。図書館のくふうを知って、図書館の達人になりましょう。



本の分類を表す番号  
本の作者の名前の  
一  
音目など

## 本をさがしやすくするくふう

### ① ラベル

本の背にはらられている。その本が、どのたなに、どの  
じゅんじよでおかれることになっているかを、文字や  
番号でしめしている。

### ② 本をしようかいるコーナー

同じ話題の本や、新しく入った本など、りよう者に  
読んでほしい本がまとめておかれている。

資料  
音声







### 3 あんない図

館内の、どこに、どんな本や資料がおかれているかが、おおまかにしめされている。

### 4 けんさく用コンピュータ

さがしている本や資料が、その図書館にあるかどうかや、どのたなにあるかななどを調べることができる。

### 本いがいの資料

#### 5 新聞・ざっし

#### 6 音声資料・えいぞう資料

#### 7 ちいきの資料（きょうど資料）

ちいきの図書館は、どんなときに役立つと思いますか。友達と話しましょう。

あなたの学校の図書館でも、どのようなふうがあるかを見つけてみましょう。

料  
リョウ

152  
ページ



# 漢字の組み立て

五つの漢字をそれぞれ二つの部分に分けて、カードを作りました。組み合わせを考えて、元の漢字を作ってみましょう。



かんむり

雨

あめか  
んむり

竹

たけか  
んむり

宀

うかん  
むり

艹

くさか  
んむり

雪 (花火・開花)

雲 (菜の花・野菜)

箱 (葉箱・良葉)

筆 (家路・家庭)

安 (安らか・安全)

家 (家路・家庭)

菜 (菜の花・野菜)

葉 (葉箱・良葉)

花 (花火・開花)

漢字で、おおまかな意味を表す部分には、へんとつくりの他に、次のようなものがあり、それぞれ名前がついています。

新雪 (リョウ) ● 雲海 (ウン) ● 良葉 (リョウ)

良  
リヨウ  
よい

照  
シヨウ  
てる  
てらす  
てれる

熱  
ネツ  
あつい

府  
フ

見  
ジ

関  
カン  
せき  
かわる



たれ

广

まだれ



によ

之

しんによう  
(しんにゆう)



あし

心

れんが  
(れつか)

心

こころ

府(府立・京都府)  
広(広場・広大)  
店(店先・商店)

10

遠(遠出・遠足)  
近(近道・近所)  
通(通り道・通学)

照(日照り・照明)  
熱(熱い湯・発熱)

5

悪(悪者・悪事)  
意(意味・決意)  
感(感知・予感)



かまえ

門

もんが  
まえ

口

くにか  
まえ

関(関所・関係)  
開(海開き・開始)  
園(公園・園児)  
国(島国・外国)  
関(関所・関係)  
開(海開き・開始)  
園(公園・園児)  
国(島国・外国)

5



1  
は、主に植物に関係のある漢字を作っています。次の部分は、それぞれ何に関係のある漢字を作っているでしょう。

10

関所  
園児

広大  
府立  
通学  
熱い  
日照り  
感知

# 漢字辞典の使い方

おもしろい形を  
しているな。どん  
な成り立ちだろう。

# 飛

どう読むん  
だろう。



漢字の読み方、成り立ちや意味、使  
方などを知りたいときには、漢字辞典  
(漢和辞典)を使いましょう。漢字を組  
み立てている部分や画数についても、知  
ることができます。

5

3 2

<p>飛 0画 総画9 4年 訓とぶ・とばす 音ヒ</p> <p>筆順 1 飛 2 飛 3 飛 4 飛 5 飛 6 飛 7 飛 8 飛 9 飛</p> <p>書き方の例 </p>	<p>なり たち 飛 鳥がはばたいてとんでいるすが たをえがいた字。</p> <p>意味 ①空をとぶ。とばす。例 飛行。飛翔。飛 来。②とび上がる。とび散る。例 飛び石。 飛散。飛躍。雄飛。③とぶように速い。例 飛脚。</p>	<p>3 ③ 飛球 野球で、打者が打ち上げたボール をフライ。</p> <p>2 ② 飛行 空中を飛んで進むこと。例 ヘリコ プターが低空を飛行する。未確認飛行物 体。類 飛翔</p> <p>④ ④ 飛散 飛び散ること。例 スギの花粉が飛 散する。</p>
---	---	--

1 4

### 1 読み方

その漢字のもつ、全ての音訓が分かります。

### 2 成り立ち

その漢字が、どのようにしてできたかを表しています。

### 3 意味

いくつかの意味がのつていることがあります。そういうときは、調べている漢字が、文中でどの意味に当てはまるかを考えます。

### 4 その漢字を使った語句

その漢字を使った語句がのつています。



漢字辞典では、漢字を、部首べつに分類してあります。そして、画数の少ないものから順にならべてあります。

## 部首

漢字を分類するとき、形のうえで目じるしとするものを、部首といいます。部首には、ふつう、漢字のへんやつくりなどの部分が使われます。

漢字を組み立てている部分のうち、ふつうは、その漢字の意味をよく表す部分を部首にします。そのため、同じ部分をもつ漢字でも、部首がちがうことがあります。

〈例——「門」を部分にもつ漢字〉

開……………「門」の部

聞……………「耳」の部

15

10

5

## 画数

漢字を組み立てているひとつづきの線や点を、画といいます。何画で書くかが、その漢字の画数です。

画を数えるとき、次のような「おれ」や「曲がり」は、一画と数えます。

区

区 区 区

池

池 池

また、ひとつづきに見えても、二画と数えるものがあります。

子

子 子 子

近

近 近 近

漢字辞典には、「音訓さくいん」「部首

さくいん」「総画さくいん」という三つ

のさくいんがついています。漢字をさがすときは、そのどれかを使います。

10

5

○順<sup>ジエン</sup> 分<sup>フン</sup> 部<sup>ブ</sup>  
○類<sup>レイ</sup> ○首<sup>シュ</sup>

○訓<sup>クン</sup> ○画<sup>カク</sup> 数<sup>スウ</sup> ○成<sup>ナ</sup> 立<sup>リ</sup> ち  
○辞<sup>ジ</sup> 典<sup>テン</sup> ○典<sup>テン</sup>

「音訓さくいん」で引く（音訓引き）



訓は「みずうみ」  
だけど、音は何  
だったかな。



漢字の音か訓の読み方が分かっている

ときは、「音訓さくいん」を見ましよう。

音訓さくいんには、読み方が五十音順

にならんでいます。ふつう、音はかたか

なで、訓は平がなでしめされています。

みず	みずうみ	みずから	みせ	みせる	みぞ	みたす	みだす
湖	湖	自	店	見	溝	満	乱
みやこ	ミヨウ	930	384	962	727	724	43
みやこ	ミヨウ			みる	ミン		
都	名	妙	命	明	見	診	民
479	215	298	223	593	962	980	680

「部首さくいん」で引く（部首引き）



読み方は分からな  
いけど、部首は「に  
んべん」だと思う。



部首を手がかりにするときは、「部首

さくいん」を見ましよう。

部首さくいんには、部首が画数の少な

いものから順にならんでいます。

さがしている漢字の部首の画数を数え

て、その部首のページを

見つけます。そこを開く

と、同じ部首の漢字が画

数順にならんでいます。

その中からめあての漢字

をさがします。

二	二	二	二	二	二	二	二
画	画	画	画	画	画	画	画
二	二	二	二	二	二	二	二
けなべふた	けいさんかんむり	人(イ・人)ひと	イにんべん	入ひとやね	人ひとあし	人ひとあし	人ひとあし
49	54	57	57	57	57	57	110

「総画さくいん」で引く（総画引き）

読み方も部首も分からない。



漢字の読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」で調べましょう。

総画さくいんには、漢字が総画数の少ないものから順にならんでいます。

以	乎	井	主	丙	世	丘	且	五画	
63	1131	41	38	33	31	31	31		
-----									
卯	占	半	北	包	功	加	刊	凸	出
1131	186	180	174	172	162	161	144	139	136

1 次の漢字の画数を数え、漢字辞典を引いてたしかめましょう。

写 曲 発 起 陽 遊

2 漢字辞典を使って、線の漢字の読み方、意味、使い方を調べましょう。

- 校庭で、東西南北をたしかめる。
- 古いお社を見る。
- 愛読書は、「マザーテレサ」という本だ。
- 昨夜、旅行の計画を立てた。
- 物事の本を直す。
- 青年が、城の近くを歩いている。

○城しろ • 青年セイ • 本もと ○昨夜サク ○愛読書アイ お社やしら 東西南北ザイナンボク

辞  
ジ

典  
テン

成

なる  
セイ

訓  
クン

類

たぐい  
ルイ

順  
ジュン

愛  
アイ

昨  
サク

城  
シロウ

↓  
152  
ページ



# 春の楽しみ

行事は、ちいきによって行い方や時期がちがいます。みなさんのちいきでは、春になるとどんなことをして楽しみますか。春の行事と、その行事のかんたんなせつめいを書きましょう。

# 三月

弥生 やよい

## ◆ ひな祭り

(三日)

ひな人形



ひしもち

## 大だこ祭り

こどもの日に、子どもの成長をねがって行われる。始まりはえど時代だという。  
十メートルをこえる大きなたこが、いくつもあがる様子は、とてもカッコいい。

ももの花



ちらしずし



はまぐりのおすいもの

雛壇 ひなだん や 襖 ふすま はらひてはるかより

水原 みずはら 秋 しゅう 桜子 おうし

# 四月

卯月うづき

## ◆ お花見



花ざかり

花いかだ

花見だんご

さくらもち



ソメイヨシノ



ヤマザクラ



セイヨウミザクラ

空をゆく一ひとかたまりの花吹雪ふぶき

たかの  
高野素十すじゅう

# 五月

皐月さつき

## ◆ 八十八夜 (二日ごろ)

立春 (二月四日ごろ) から数えて八十八日目。



新茶

茶畑

茶つみ

## ◆ こどもの日 (五日)

かしわもち  
ちまき

しょうぶ



こいのぼり



立シユン春





話す・聞く

大事なことを落とさずに聞こう

# 聞き取りメモのくふう

みなさんは、これまでに、どんな場面でメモを取ったことがありますか。メモは、見たことや聞いたこと、考えたことなどをわすれずに覚えておくために取るものです。ここでは、聞き取ったことを後からたしかめたり、だれかに伝えたりするためのメモの取り方を考えてみましょう。



5

● たしかめよう

「三年生の学びをたしかめよう」

● 学習の進め方

決めよう  
集めよう

1 メモを取ったけいけんを思い出す。

じゅんびしよう

2 話を聞きながらメモを取る。  
3 メモの取り方のくふうについて考える。

話そう  
聞こう

4 くふうしてメモを取り、メモを使って発表する。

つなげよう

5 目的に合ったメモの取り方について考える。

● ふりかえろう

5ページ



## 1 メモを取ったけいけんを思い出そう。

話を聞きながらメモを取ったときのことを、思い出しましょう。

- どんな場面で、何のために取ったか。
- メモを取ってよかったことはあったか。
- 「こんなメモを取ればよかった」と思うことはあるか。

5

## 2 話を聞きながらメモを取ろう。



次の話を聞きながら、メモを取ってみましょう。話の内容を、  
後からあなたが説明するとしたら、どんなメモを取りますか。

これから、けいじ系の活動と、みなさんへのおねがいを話します。  
けいじ係は、教室の後ろのけいじ板に、みんなに楽しんでもらえるけいじ物を作って、はっています。  
来週は、クラスみんなが好きなスポーツについてまとめたものを、

けいじしたいと思います。  
そこで、みなさんにおねがいです。  
あさってまでに、けいじ系の高橋さんに、自分の好きなスポーツを伝えてください。好きなスポーツは、一つだけです。  
よろしくおねがいます。

15



10



好き 説明

覚える 伝える

### 3 メモの取り方のくふうについて考えよう。

友達とメモを見せ合い、にているところやちがうところを見つけましょう。そして、聞き取りメモのくふうを整理しましょう。

#### ■竹中さんのメモ

けいじ係

①活 — 楽しいけいじ物  
作ってはる  
来しゅう  
好きなスポーツ

②ね — あさってまで  
たかはしさん  
スポーツ①



線を使ったり、かんに書いてたりした。平がなだと、速く書けるな。

#### ■北山さんのメモ

〈活動〉

- ・楽しいけいじ物を作る。
- ・来週はスポーツをまとめてけいじ。

〈おねがい〉

あさってまでにたかはしさんに好きなスポーツ一つ

「活動」と「おねがい」と言ったので、先に見出しを書いた。「活動」は、かじよう書きにしたよ。後でききたいことには、印をしておいた。



### 4 くふうしてメモを取り、メモを使って発表しよう。

あなたやクラスみんながよく知らないことについて、くわしい人に話をきき、要点をメモしましょう。聞き取りメモをもとに、話の内容をみんなに知らせましょう。

5

▼メモを取りながら聞くとき、どんな聞き方をすると、話す人は話しやすいでしょうか。

「話し方や聞き方から伝わること」  
44ページ



かじよう書き  
159ページ

159ページ

印  
ヨミ  
要点

要点

人の話などの中心となる、大事な事ながら、

159ページ

- 学校のれきしについて

—— 校長先生に

- 全校で行う集会について

—— たんとうする委員会の人に



**5** 目的に合ったメモの取り方について考えよう。

次のようなとき、メモの取り方はどのようにかわるでしょうか。グループで話しましょう。

- 知っていることを聞くとときと、知らないことを聞くととき。
- 自分が知るためだけに聞くとときと、だれかに伝えるために聞くととき。

10



ふりかえろう

- 知る      メモの取り方で、あなたがはじめて知ったのは、どんなことですか。
- 話す・聞く      どんなことに気をつけて、聞き取りメモを取りましたか。
- つなぐ      どんなときに、メモの取り方のくふうを役立てたいですか。

必要<sup>ヒツ</sup>目的<sup>テキ</sup>



聞きながらメモを取るときは

- 必要なことは何かを考え、大事な言葉を書く。
- 短い言葉で書く、記号を使う、かじょう書きにするなどして、すばやく書く。
- 聞き取れなかったことは、後でしつもんできるように印をしたり、書くところを空けておいたりする。
- 話が終わったら、すぐにメモを読み返し、書き足すなどして整理する。



校外学習などで外部の方の話を聞くときに、メモの取り方をくふうしましょう。

10

5



# 話し方や聞き方から伝わること

同じ内容をやり取りするときでも、話し方や聞き方によって、相手の受ける印象はかわることがあります。

図書係からのおねがい  
です。さいきん、学級文  
庫の本のならば方がばら  
ばらになっていて――。

図書係からのおねがい  
です。さいきん、学級文  
庫の本のならば方がばら  
ばらになっていて――。



それはよく  
ないな。

係の人が、  
おこっている。



▼聞く人の受け止め方がちがうのは、なぜでしょうか。話す人の表情や声の調子を考えましょう。

わたしたちの  
仕事は――。

メモを取ることに  
だけに集中しよう。

話す人の方も見  
るようにしよう。



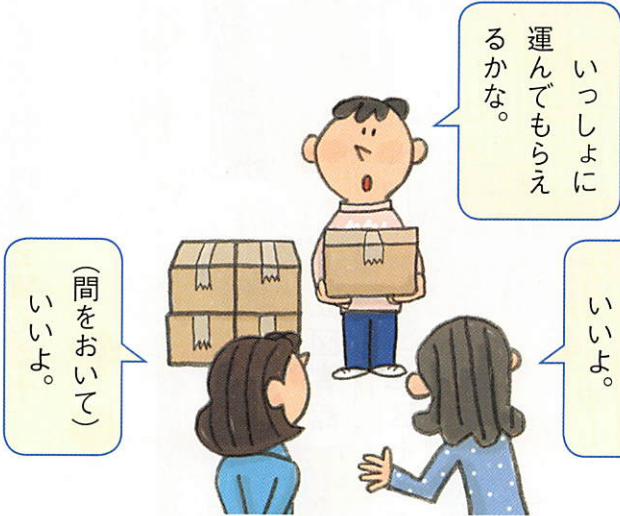
▼聞く人が手元ばかり見ている場合と、話す人も見る場合とで、話す人が受ける印象はどうちがうでしょうか。

次のような返事のしかたや話し方で、相手の受け止め方はどうか変わるでしょうか。  
相手と気持ちよくやり取りをするために、気をつけたいことを考えてみましょう。

■ 顔の向き



■ 間の取り方



■ 話す速さ



覚

カク  
おぼえる  
さます  
さめる

伝

デン  
つたわる  
つたえる  
つたう

説

セツ  
とく

好

コウ  
このむ  
すく

印

イン  
しるし

要

ヨウ  
かなめ

的

テキ  
まど

必

ヒツ  
かならず





## 漢字の広場

3年生で  
習った漢字

1

この町の住人になりきって、町やまわりの様子をしようかいする文章を書きましよう。

〈例〉 わたしの家は農家です。春には、畑に  
たくさんさんの野菜を植えます。







読む

筆者の考えをとらえて、  
自分の考えを発表しよう

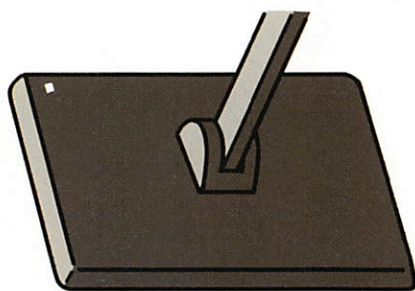
〈練習〉 思いやりのデザイン

# アップとルーズで伝える



考えと例

2  
二つの文章は、多くの人に何かを伝える仕事をしている人によって書かれています。それぞれの筆者は、どのような考えを伝えているでしょうか。



これまでの学習

三年生の学びをたしかめよう  
(説明する文章) ……………

7ページ

「アップとルーズで伝える」の学習にいかしましょう。

# 思いやりのデザイン

木村博之  
きむら ひろゆき

## 初め

① 学校の中に、トイレやひじょう口の場所を知らせる絵文字、校内の案内図、手のあらい方の説明図などがあるでしょう。それらのように、伝えたいことを、絵や図、文字を組み合わせて見える形にしたものを、インフォグラフィックスといいますが、これは、インフォメーション（伝えたいこと）と、グラフィックス（形にすること）を合わせた言葉で、デザインの一つです。

② わたしには、インフォグラフィックスを作るときに大切にしていることがあります。それは、相手の立場から考えるということです。絵や図を使っても、必ず分かりやすくなるとはかぎりません。街の案内図を例に考えてみましょう。

③ Aの案内図は、どこにどんな建物があるかを、だれが見ても分かるように表しています。そのため、この街に来た多くの人の役に立ちます。しかし、目的

○初め

●文章の初めには、話題がしめされます。この文章の話題は何でしょう。

●②の段落と同じようなことを書いている段落が、他にもあります。さがしましょう。

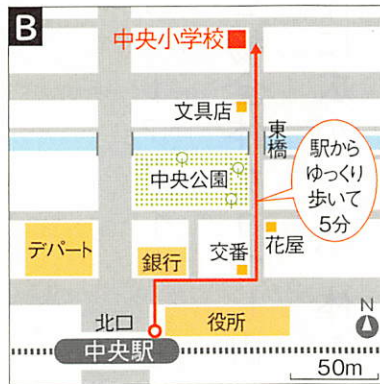
●筆者は、自分の考えを説明するために、二つの例を対比してしめています。くらべて分かるのは、どんなことでしょうか。

地が決まっている人にとってはどうでしょう。か。たくさんの道や目印があるため、どの道順で行けばよいのかまよってしまいかもしれません。

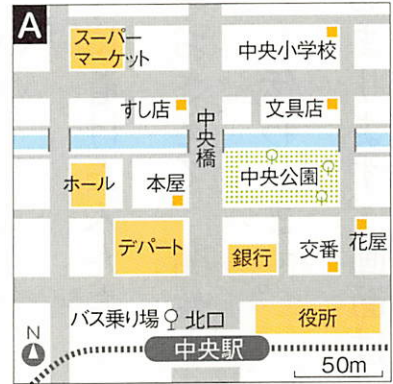
④ いっぽう、Bの案内図は、目的地までの道順と目印になる建物だけを表しています。まよわず安心して目的地に向かえるように、歩くときに見えるけしきをさまざまに想像しながら、見る人にとっていちばん分かりやすい道順にしぼってしめしています。しかし、街全体の様子を知りたい人にとっては、十分なものではありません。

⑤ このように、インフォグラフィックスを作るときには、相手の目的に合わせて、どう見えると分かりやすいのかを考えながらデザインすることが大切です。つまり、インフォグラフィックスは、見る人の立場に立って作る、思いやりのデザインなのです。

10



5



15

● 筆者の考え方について、どう思いますか。自分が何かを伝えるときのことを思い出して、考えましょう。

対比

二つのものをくらべて、ちがいをはつきりさせること。



160ページ

案内図

○ 街

インフォグラフィックス

▲ フィックス

木村 博之

一九五六年、宮城

県女川町生まれ。

グラフィックデザイナー。



# アップとルーズで伝える

中谷 日出なかや ひで

テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。もうすぐ後半が始まろうとするところで、画面には会場全体がうつし出されています。両チームの選手たちは、コート全体に広がって、体を動かしています。観客席は、ほぼまんいんといっていいでしょう。おうえんするチームの、チームカラーの洋服などを身に着けた人たちがうまっています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

いよいよ後半が始まります。画面は、



○試合

●後半

○選手

○観客席

○静か



コート中央に立つ選手をうつし出しました。ホイッスルと同時にボールをける選手です。顔を上げて、ボールをける方向を見ているようです。

初めの画面のように、広いはんいをうつすとり方を「ルーズ」といいます。次の画面のように、ある部分を大きくうつすとり方を「アップ」といいます。何かを伝えるときには、このアップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切です。アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしょう。

10

5

•同時<sup>ドウ</sup>

ルーズ  
「ロングでとる」と  
いう言い方をするこ  
ともある。

•選ぶ<sup>えら</sup>

このように、アップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがあります。それで、テレビでは、ふつう、何台ものカメラを用意していろいろなうつし方をし、目的におうじてアップとルーズを切りかえながら放送をしています。

写真にも、アップでとったものとルーズでとったものがあります。新聞を見ると、伝えたい内容ように合わせて、どちらかの写真が使われていることが分かります。紙面の広さによっては、それらを組み合わせることもあります。取材のときには、いろいろな角度やきよりから、多く



えいぞうを切りかえながら放送している様子



の写真をとっています。そして、その中から目的にいちばん合うものを選んで使うようにしています。

同じ場面でも、アップとルーズのどちらで伝えるかによって伝わる内容がかわってしまふ場合があります。だからこそ、送り手は伝えたいことに合わせて、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりする必要があるので。みなさんも、クラスの友達や学校のみんなに何かを伝えたいと思うことがあるでしょう。そのときには、ある部分を細かく伝える「アップ」と、広いはんいの様子を伝える「ルーズ」があることを思い出しましょう。そうすることで、あなたの伝えたいことをより分かりやすく、受け手にとどけることができるはずです。

10

5

中谷 日出

一九五五年、神奈川県

県生まれ。テレビ番組

組の制作をしている。



見通しをもとう

## 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう

- 筆者の考えと、それをささえる具体的な例との関係に気をつけましょう。
- 対比的に説明されている内容をとらえ、段落どうしとの関係をたしかめながら読みましょう。

### とらえよう

- 50ページから53ページの写真について、それぞれ説明している段落を見つけてみましょう。
- 筆者は、第三段落で自分の考えを書いています。
- 筆者の考えが書かれた一文を、書きぬきましょう。
- その一文と同じような文が、他の段落にもありません。どの段落ででしょうか。
- 筆者は、なぜ二度、同じような文を書いたのでしょうか。
- 第一段落、第二段落は、第三段落とどのような関係があるのでしょうか。

1

- 「アップ」と「ルーズ」を対比しながら説明してい

10

#### 1 段落どうしとの関係

それぞれの段落が、主に何について書かれている段落かが分かると、たがいの関係がとらえやすくなります。それぞれ、「――の段落」などと一言で表してから考えてみましょう。

#### 2 言葉に着目する

段落の中の、文の初めにある言葉に着目することで、説明のしかたがはつきり分かることがあります。

- しかし（52ページ7行目）
- でも（53ページ9行目）

#### 3 発表の例

10

5



### ふりかえろう

- 知る      この文章の中で、具体的な例はどこに書かれていましたか。
- 読む      段落どうしの関係をとらえるときに、どんな言葉に気がつけましたか。
- つなぐ      人に何かを伝えるときには、どんなことに気をつけたいですか。

### ひろげよう

● 「アップとルーズで伝える」ということについて、考えたことを発表しましょう。

3

10

### まとめよう

- 「アップとルーズで伝える」ということについて、次のようにして、自分の考えをまとめましょう。
- 自分が人に何かを伝える場面を、思いつくかべる。
- 本文を一部引用する。

5

### ふかめよう

るのは、どの段落でしょうか。また、それぞれ、何をどのように説明しているのかをまとめましょう。

2

● 「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさについて、友達と話しましょう。

筆者は、新聞の写真について、「取材のときには、いろいろな角度やきよりから、多くの写真をとっています。」と書いていました。わたしたちも、学級新聞などを作るときには――。



ぼくは、朝のスピーチで、気になったニュースについて話すときにも、「アップ」と「ルーズ」を組み合わせて伝えることができると思います。例えば、ニュース全体のことを説明する「ルーズ」のときと、――。







## 筆者の考えをとらえる

● 考えをのべた文章では、文章の初めと終わりの両方で、考えをくり返しのべていることが多い。

● どのような具体例をあげて考えをのべているかなど、段落どうしの関係をとらえ、筆者の考えをとらえる。



考えをのべるときは、伝えたいことを印象づける組み立てや、例のあげ方をくふうしましょう。

10

5

## この本、読もう

「人に伝える」ということに

ついて、本を読んで考えを深めましょう。



絵くんとことばくん

自分のねがいを伝えるには、どんな絵や言葉で表したらいいのだろう。ぼくはいろいろと考えてみました。

5



伝える極意

達人に学ぶコミュニケーション④

表現の極意

写真やビデオ、朗読などで、気持ちを相手に伝えるコツが、達人から学べます。

10



世界を変えるデザインの力②  
伝える

同じことを伝えるのでも、デザインによって、気持ちやじょうほうの伝わり方がちがいます。

15

# 関係をとらえよう 考えと例

**例**  
アップでとったゴール直後のシーンを  
見てみましょう。——走っている選手  
いがいの、うつさされていない多くの部分  
のことは、アップでは分かりません。

**考え**  
同じ場面でも、アップとルーズのどち  
らで伝えるかによって伝わる内容が  
わかってしまう場合があります。——

「アップとルーズで伝える」で、筆者は、  
アップとルーズの具体的な例をあげて、  
自分の考えをのべていました。

文章を読むときや話を聞くときには、

どんな例があげられているかや、伝えた  
いこととどのようになさるべきかについて  
かをおさえることが大切です。話すとき  
や書くときにも、自分が伝えたいことと  
例とのむすびつきをたしかめましょう。

▼あなたは、どんな遊びが好きですか。

例をいくつかあげて話しましょう。

ぼくは、勝ち負けがはっきりつく遊びが好きです。

例えば、サッカーです。勝つとうれしいし、負けても、「今度こそ」と  
思って、またしたくなります。

他にも、部屋の中で遊ぶときには、トランプでゲームをするのが好  
きです。どうやったら勝てるか、考えるのが楽しいからです。



初 シヨ  
はじめ

案 アン

街 ガイ  
まち

試 シ  
こころみる

選 セン  
えらぶ

観 カン

静 セイ  
しずか

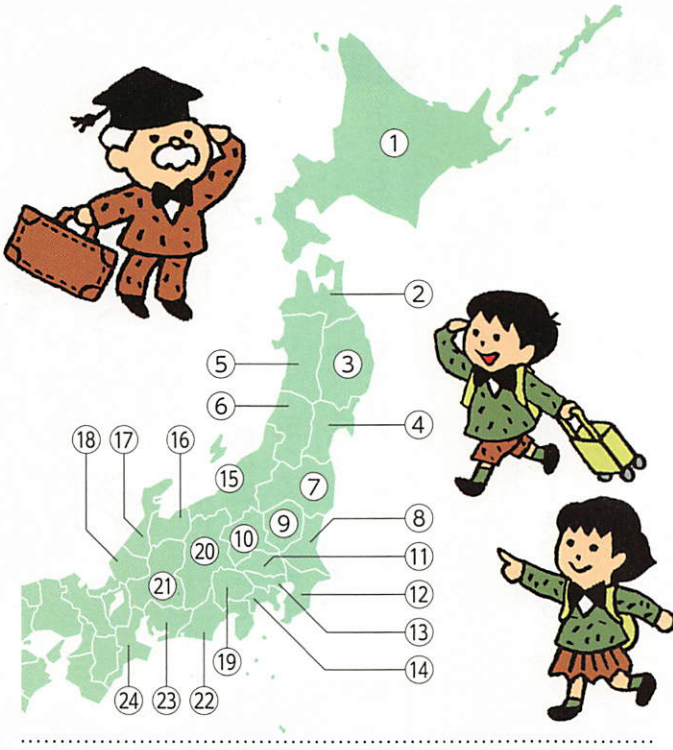
旗 キ  
はた

材 サイ



# カンジューはかせの 都道府県の旅 1

カンジューはかせたちは、日本全国をめぐる旅に出かけました。みなさんもはかせといっしよに旅をしている気持ちになって、——線の都道府県名を使った文を書きましよう。



- ① 北海道では、じゃがいもが多く生産さんされている。
- ② りんごは、青森県の特産品とくさんの一つだ。
- ③ わんこそばは、岩手県の名物だ。
- ④ 宮城県では、有名な七夕のお祭りが行われている。
- ⑤ なまはげは、秋田県の年まつの風物詩だ。
- ⑥ 山形県では、さまざまなしゅるいのさくらんぼが生産さんされている。
- ⑦ 赤べこは、福島県の工芸品こうげいだ。

10

5

○ 栃木とち

◆ 宮城みやぎ  
◆ 七夕たなばた



⑧ 茨城県は、メロンの産地だ。

⑨ 栃木県では、いちごの生産がさかんだ。

⑩ こんにゃくは、群馬県の特産品だ。

⑪ 埼玉県には、ひな人形や五月人形などの、人形づくりで有名なちいきがある。

⑫ 千葉県では、かぶが多く作られている。

⑬ 東京都は、都道府県の中でいちばん人口が多い。

⑭ 神奈川県には、大きな港がある。

⑮ 新潟県は、米どころの一つだ。

⑯ 富山県では、チューリップが多くさいばいされている。

⑰ 金箔は、石川県の特産品だ。

⑱ 福井県では、きょうりゅうの化石が多く見つかっている。

⑲ 山梨県は、ぶどうの産地だ。

⑳ 長野県は、きのこの生産量が多い県だ。

㉑ 岐阜県では、うかいを見学できる。

㉒ 静岡県のお茶は、全国的に有名だ。

㉓ 愛知県には、みそを使った料理が多い。

㉔ 三重県では、伊勢えびが多くとれる。

▼ ———— 線の都道府県名を、ローマ字で書きましよう。 「ローマ字の表」  
136 ページ

栃  
とち

群  
ぐん  
むれる  
むら

埼  
さい

潟  
かた

井  
い

梨  
なし

岡  
おか

茨  
いばら

奈  
な

富  
とみ  
ふ

岐  
き

阜  
ふ

- ◆ 茨城(茨) ○ 静岡(おか)
- ◆ 神奈川(奈) ○ 山梨(なし)
- ◆ 富山(富) ○ 福井(い)
- ◆ 岐阜(岐) ○ 新潟(にいがた)
- 群馬(ぐんま)
- 埼玉(さい)
- 人(こウ)

153 ページ



気持ちが伝わる手紙を書こう

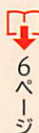
# お礼の気持ちを伝えよう

学校には、みなさんの生活や学習をささえてくれている人がたくさんいますね。社会科見学や総合的な学習<sup>そうがく</sup>などでは、学校いがいの場所で、だれかに関わることもあります。お世話になった方に、手紙でお礼の気持ちを伝えましょう。



● たしかめよう

「三年生の学びをたしかめよう」



6ページ

● 学習の進め方

決めよう  
集めよう

1 だれに、何のお礼を伝えるのかを決める。

組み立てよう

2 手紙の型<sup>かた</sup>にそって、内容を考  
える。

書こう

3 手紙を書いて、読み返す。

つなげよう

4 手紙を送る。

● ふりかえろう

# 1 だれに、何のお礼を伝えるのかを決めよう。

友達と話するなどして、学校生活をふり返りましょう。お世話になった方はいますか。どんなことについて、お礼を言いたいですか。

# 2 手紙の型にそって、内容を考えよう。

手紙には、下のような型があります。型にそ  
うことで、あらたまった気持ちを伝えることが  
できます。

本文に、何に対してお礼を言いたいのかをく  
わしく書くと、気持ちがよりよく伝わります。  
ノートに書き出しておきましょう。

- 相手がしてくれたこと
- そのとき感じたこと

10

5

総合的な学習でお話をうかがった  
森山さんに、お礼を言おう。

## ■手紙の型

### 初めのあいさつ

- 季節に関する言葉や、相手の様子をたずねる言葉
- 自分のしようかい

### 本文

- 伝えたいこと

### むすびのあいさつ

- 別れのあいさつ
- 相手を気づかう言葉

### 後づけ

- 日づけ
- 自分の名前
- 相手の名前

10

5

○別れ  
○季節





### 3 手紙を書いて、読み返そう。

読みやすい字で、気持ちよこめて書きましょう。

緑がまぶしい季節となりました。森山さんはお元気ですか。先週、さくら祭りについて教えていただいた、長山小学校四年二組の原田あやのです。この間は、お祭りのれきしについて、くわしく教えてくださり、本当にありがとうございました。昔の写真や、お祭りで作られている道具を見せてくださったので、とてもよく分かりました。クラスで発表したら、みんなもおどろいていました。来年のお祭りが、いつもより楽しみます。これからお体にご気を付けて、ちいきのれきし研究をつづけてください。さようなら。

五月十五日

森山幸二様

原田あやの

初めのあいさつ

本文

むすびのあいさつ

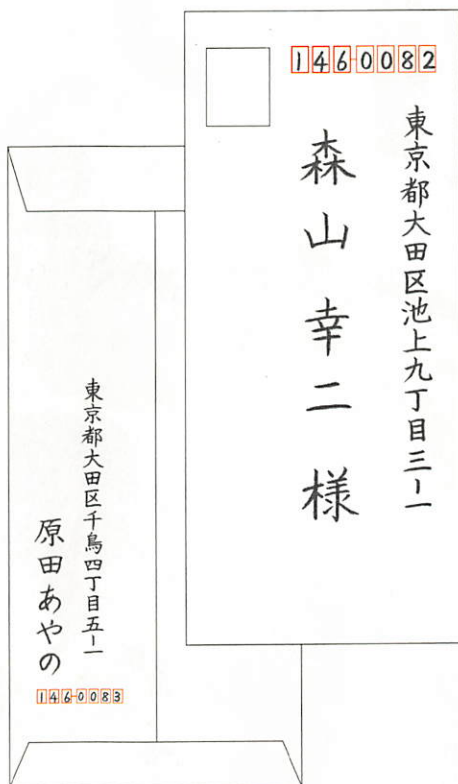
後づけ

書き終わったら、字にまちがいがいかや、ていねいな言葉を使っているかをたしかめましょう。

- 郡
- 市
- 区
- 町
- 村

#### 4 手紙を送ろう。

例をさんこうに、住所とあて名を書いて、送りましょう。



・都道府県名や市区町村名、郡名は、はぶくこともできます。



#### ふりかえろう

- 知る
- 書く
- つなぐ

手紙を書くときに、言葉の使い方や気をつけたことは何ですか。  
お礼の気持ちや伝わるように、どんなことを書きましたか。  
手紙で気持ちを伝えることには、どんなよさがあると思いますか。



#### 手紙で気持ちを伝える

- 何に対して、どんな気持ちなのかを書く。
- 手紙の型にそって、ていねいな言葉を使って書く。



おねがいやおわびの気持ちも、手紙で伝えてみましょう。

季  
キ

節  
セツ  
ふし

別  
ベツ  
わかれる

郡  
グン

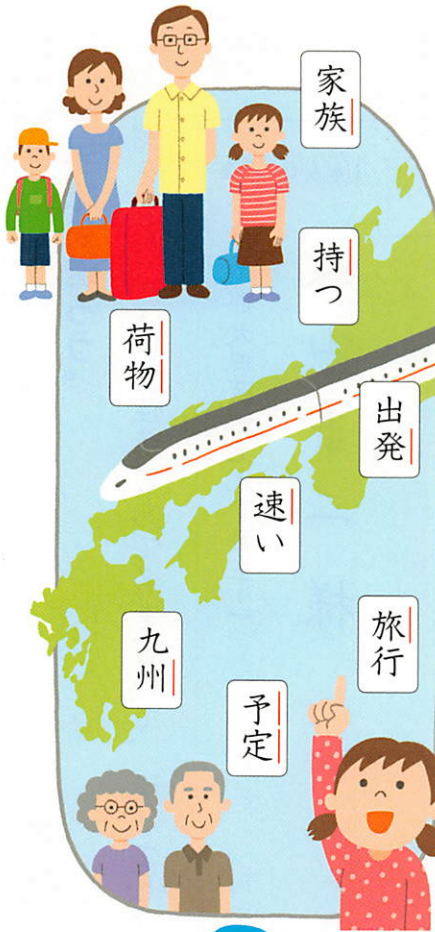


# 漢字の広場

3年生で  
習った漢字

## 2

それぞれの人になったつもりで、夏の楽しみを文章に書きましょう。  
主語と述語のつながりや、句読点に気をつけて、読み直しましょう。  
〔例〕わたしは、夏休みに、家族で九州へ旅行に行きます。







読む

場面の様子をくらべて読み、  
感想を書こう



これまでの学習

場面と場面のつながりを考える  
(白いぼうし) ……………

28  
ページ

# 一つの花

3

この物語は、戦争がはげしかったころの、  
親子のお話です。あなたは、「一つの花」と  
いう題名から、どのような印象しやうを受けますか。



# 一つの花

今西 祐行 作  
いまにし すけゆき  
松永 禎郎 絵  
まんなが よしろう

「一つだけちょうだい。」

これが、ゆみ子のはっきり覚えた最初の言葉でした。

まだ戦争のはげしかったころのことです。

そのころは、おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってもありませんでした。おやつどころではありませんでした。食べる物といえは、お米の代わりに配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

毎日、てきの飛行機が飛んできて、ばくだんを落としていきました。

5

戦争  
センソウ

最初  
サイ

配給  
キユウ

配給

物を一人一人にわり  
当てること。戦  
争中は、きつぷなどが  
ないと、食べ物も手  
に入られなかった。

飛行機  
キ



町は、次々にやかれて、はいになって  
いきました。

ゆみ子は、いつもおなかをすかしてい  
たのでしょうか。ごはんのときでも、お  
やつするときでも、もっともっとと言って、  
いくらでもほしがるのでした。

すると、ゆみ子のお母さんは、

「じゃあね、一つだけよ。」

と言って、自分の分から一つ、ゆみ子に  
分けてくれるのでした。

「一つだけ——。一つだけ——。」

と、これが、お母さんの口ぐせになっ





しまいました。ゆみ子は、知らず知らずのうちに、お母さんのこの口ぐせを覚えてしまったのです。

「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちようだいと言え、なんでももらえらると思ってるのね。」

あるとき、お母さんが言いました。

すると、お父さんが、深いため息をついて言いました。

「この子は、一生、みんなちようだい、山ほどちようだいと言って、両手を出すことを知らずにごすかもしれないね。一つだけのいも、一つだけのにぎりめし、一つだけのかぼちゃのにつけ——。みんな一つだけ。一つだけのよろこびさ。いや、よろこびなんて、一つだつてもらえないかもしれないんだね。いったい、大きくなって、どんな



「子に育つだろう。」  
そんなとき、お父さんは、きまってゆみ子をめちやくちやに高い高  
いするのですた。



それからまもなく、あまりじょうぶでないゆみ子のお父さんも、戦争に行かないければならない日がやって来ました。

お父さんが戦争に行く日、ゆみ子は、お母さんにおぶわれて、遠い汽車の駅まで送っていきました。頭には、お母さんの作ってくれた、わた入れの防空頭巾をかぶっていきました。

お母さんのかたにかかっているかばんには、包帯、お薬、配給のきつぷ、そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。

10

5



クウズ  
●●  
防空頭巾

防空頭巾

戦時中に使われた、  
身を守るためにかぶ  
る、わた入れの頭巾。

ホウタイ  
○●  
包帯





ゆみ子は、おにぎりが入っているのを

ちやあんと知っていましたので、

「一つだけちようだい、おじぎり、一つだけちようだい。」

と言って、駅に着くまでにみんな食べてしまいました。お母さんは、戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。

駅には、他にも戦争に行く人があって、人ごみの中から、ときどきばんざいの声が起こりました。また、別の方からは、たえず勇ましい軍歌が聞こえてきました。

ゆみ子とお母さんの他に見送りのないお父さんは、プラットホームのはしの方で、ゆみ子をだいて、そんなばんざいや軍歌の声に合わせて、小さくばんざいをしていたり、歌を歌っていたりしていました。



○泣<sup>な</sup>き顔

○勇<sup>いき</sup>ましい  
○軍<sup>グン</sup>歌

まるで、戦争になんか行く人ではないかのように。

ところが、いよいよ汽車が入ってくるというときになって、またゆみ子の「一つだけちようだい。」が始まったのです。

「みんなおやりよ、母さん。おにぎりよ——」。

お父さんが言いました。

「ええ、もう食べちゃったんですの——。ゆみちゃん、いいわねえ。

お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざあいつて——」。

お母さんは、そう言ってゆみ子をあやしましたが、ゆみ子は、とうとう泣きだしてしまいました。

「一つだけ。一つだけ。」

と言って。

お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、お父さん

が、ぶいといなくなっていました。

お父さんは、プラットホームのはしっぱの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう——」。

ゆみ子は、お父さんに花をもらうと、キヤツキヤツと足をばたつかせてよろこびました。

お父さんは、それを見てにっこりわらうと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら——。

10

5





それから、十年の年月がすぎました。

ゆみ子は、お父さんの顔を覚えていません。自分にお父さんがあったことも、あるいは知らないのかもしれないかもしれません。

でも、今、ゆみ子のとんとんぶきの小さな家は、コスモスの花でいっぱいに包まれています。

そこから、ミシンの音が、たえず速くなったりおそくなったり、まるで、何かお話をしているかのように、聞こえてきます。それは、あのお母さんでしょうか。

「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」

と、ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました。すると、ミシンの音がしばらくやみました。

• 包む

とんとんぶき  
かわらの代わりに、  
うすい木の板を打ち  
つけた、そまつな  
屋根。

やがて、ミシンの音がまたいそがしく始まったとき、買い物かごをさげたゆみ子が、スキップをしながら、コスモスのトンネルをくぐつて出てきました。そして、町の方へ行きました。

今日は日曜日、ゆみ子が小さなお母さんになって、お昼を作る日です。



今西 祐行

一九二三〜二〇

〇四年。大阪府生おおさかまれ。作家。「さくら

子とおじいさん」

「ヒロシマの歌」な

どの作品がある。



見通しをもとう

## 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう

- 登場人物の行動を表す言葉や、会話に気をつけて読みましょう。
- くり返し使われている言葉に着目して、場面の様子をくらべましょう。



設定

時（「いつ」、場所  
「どこで」、人物  
「だれが」など、  
物語全体に関わる  
こと。

160ページ

## とらえよう

- 「一つの花」の設定をたしかめましょう。
- 登場人物はだれで、どんな人ですか。
- いつの時代の物語ですか。
- 季節はいつですか。
- どんな場所がえがかれていますか。
- 登場人物の行動や会話に着目し、それぞれの場面の登場人物の気持ちや、世の中の様子、出来事をたしかめましょう。

1

## ふかめよう

- 「一つだけ」という言葉は、最後の場面には出てきません。戦争中と戦争後の場面をくらべて、最後の場

10

## 1 ノートの例

登場人物の行動や会話	登場人物の気持ち	世の中の様子や出来事
ゆみ子 「一つだけちようだい。」 お母さん 「じゃあね、一つだけよ。」		

5

## 2 くらべるときに着目するポイント

次のことに気をつけて、場面の様子をくらべてみましょう。

- ・ コスモスの花
- ・ 食べ物
- ・ 登場人物の行動

「分ける・くらべる」

9ページ

10

5





### ふりかえろう

- 知る
- 読む
- つなぐ

登場人物の行動を表す言葉や会話で、心にのこったのはどれですか。  
 場面と場面をくらべるときに、どのようなところに着目しましたか。  
 友達の感想を読んで、どんなところが自分とちがうと思いましたか。

### ひろげよう

● 感想を友達と読み合い、考え方や感じ方のちがいが表れているところを見つけて、伝え合ひましょう。

### まとめよう

- くわしく読んで考えがかわったところを中心に、感想をまとめましょう。例えば、次のようなことに対して、あなたの考えはどうかわりましたか。
- 登場人物の行動や会話
- 題名から受ける印象

面に「一つだけ」という言葉が出てこない理由を考えましょう。

3

2

### 3 感想の例

最初は、「一つだけ」という言葉をくり返すゆみ子を、わがままだと感じました。それは、

けれど、戦争中と戦争後の場面をくらべたとき、――。

作者は「一つだけ」という言葉に、――という意味をこめているのではないかと思いました。



- 最初に読んだときに感じたこと
- ぎもんに思ったこと など

くわしく読んで感じたことと、その理由

自分の考え



### 特別な言葉に着目する

物語を読むときには、次の言葉に着目することで、作者の思いにせまることができます。

- 題名に用いられる言葉。
- くり返し用いられる言葉。
- 会話の中で用いられる言葉。
- 重要な場面で用いられる言葉。



特別な言葉に着目して、作品にこめられた作者の思いを想像しましょう。

戦 セン  
たたかう

争 ソウ  
あらそう

最 サイ  
もっとも

給 キユウ

機 キ

軍 グン

兵 ヘイ  
ヒョウ

隊 タイ

輪 リン  
わ

特 トク

包 ハウ  
つつむ

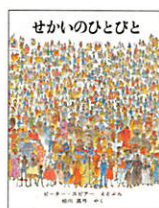
帯 タイ  
おびる

泣 ナク

勇 ユウ  
いさむ

10

5



せかいのひとびと

世界にはいろいろな人、くらし、言葉があります。同じ人はだれ一人いなくて、みんなそれぞれすてきです。

15



オットー

「オットー」は、戦火をくぐりぬけて旅をします。これは、平和をもとめる、長い長い物語。

10



せかいでいちばんつよい国

強い兵隊をつれてせいくに出かけた大統領が、最後に出会った国は兵隊のいない小さな国でした。

5

この本、読もう

だれもが平和にくらせる世界をねがって書かれた本です。



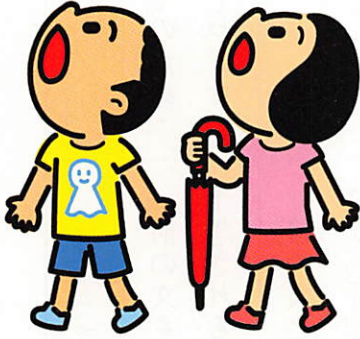
● 特別 トク  
● 用 もち  
いる

# つなぎ言葉のはたらきを知ろう

次の□には、「だから」「しかし」のどちらが入ると思いますか。また、それはなぜですか。

① 雨がふりそうだと、かさを持っていく。

② 雨がふりそうだと、かさを持っていない。



5

「だから」は、前の文が後ろの文の理由になるときや、前の文から予想されることが後ろにつづくときに使われます。

「しかし」は、前の文から予想されな  
いことや、前の文と反対のことが後ろに  
来るときに使われます。

このように、前の文と後ろの文のつながり方をはっきりさせる言葉を、つなぎ言葉といいます。つなぎ言葉は、語と語や、段落と段落をつなぐこともあります。

つなぎ言葉は、文と文のいろいろな関係を表します。次の表でたしかめましょう。

10

5



つなぎ言葉	はたらき	例文
だから・それで・そのため・ このようなことから など	前の文を理由とする文や、前の文から 予想される文が、次に来ることを表す。	田中さんは、動物が好きだ。だから、 動物園によく行く。
しかし・それでも・ でも・けれども など	前の文と反対になるような文や、前の 文から予想されない文が、次に来ること を表す。	木村さんは、夫と二人で衣料品を買 いに行った。しかし、気に入ったもの は見つからなかった。
しかも・また・そして・ それに など	前と後ろの文が、同じようにならんで いることを表す。前の文に、後ろの文を つけくわえることを表す。	野田氏は、科学者として有名だ。し かも、作家としてもかつやくしている。
それとも・あるいは・ または など	前の文と後ろの文をくらべたり、どち らかを選んだりすることを表す。	今度の祝日は、デパートに行きます か。それとも、公園に行きますか。
つまり・要するに・例えば・ なぜかというのと など	前の文についての説明を表す。	あの男の人は、父の弟だ。つまり、 わたしのおじだ。
では・ところで・ さて など	話題をかえることを表す。	この話は、ここまでにしませう。 では、明日の社会科見学の話をします。

夫  
おつと

衣  
イ

氏  
シ

祝  
シユク  
いわう

徒  
ト

競  
キヨウ  
ケイ

1 82ページの表をさんこうに、①から

⑥の文のつづきを書きましよう。

①明日は晴れるらしい。□、――。

②村田さんは、リコーダーをふくの  
が上手です。□、――。

③全員そろったね。□、――。

④飲み物は、オレンジジュースでい  
いですか。□、――。

⑤休みの日は、友達とよく外で遊び  
ます。□、――。

⑥昨日、森林の役わりについて調べ  
ました。□、――。

10

5

2 つなぎ言葉は、話し手や書き手の気

持ちを表すことがあります。次の

□に、「だから」「しかし」を入れ

ると、どのような気持ちのちがいが表  
れるかを考えてみましょう。

・徒競走のとき、必死で走った。

□、二着だった。



文章を書くときには、自分の考えや気持  
ちに合ったつなぎ言葉を使いましよう。

10

5

夫  
おつと

○衣料品

野田氏  
シ

○祝日  
シユク

○森林  
シシリ  
ン

○徒競走  
トキヨウ

◆明日  
あす

◆昨日  
きのう

声に出して楽しもう

# 短歌・俳句に親しまう(一)

声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しみましょう。気に入ったものは、覚えて言ってみましょう。

石<sup>いわばし</sup>走る垂<sup>たる</sup>水<sup>み</sup>の上のさわらびの萌<sup>も</sup>え出<sup>い</sup>づる春<sup>はる</sup>になり<sup>なり</sup>にけるかも 志<sup>し</sup>貴<sup>き</sup>皇<sup>み</sup>子<sup>こ</sup>

岩の上をいきおいよく流れるたきのそばの、わらびが芽<sup>め</sup>を出す春<sup>はる</sup>になったのだなあ。

君<sup>きみ</sup>がため春<sup>はる</sup>の野<sup>の</sup>に出<sup>い</sup>でて若<sup>わか</sup>菜<sup>な</sup>摘<sup>つ</sup>む我<sup>わ</sup>が衣<sup>ころも</sup>手に雪<sup>ゆき</sup>は降<sup>ふ</sup>りつつ 光<sup>こう</sup>孝<sup>こう</sup>天<sup>てん</sup>皇<sup>んのう</sup>

あなたのために、春の野に出かけて若菜を摘むわたしのそでに、雪がずっと降りつづいている。



見渡せば柳桜をこきまぜて都ぞ春の錦なりける

素性法師

見渡すと、柳と桜が交じり合っていて、都のけしきは、まるで春のもよりの織物のようだなあ。

名月や池をめぐりて夜もすがら

松尾芭蕉

今夜は中秋の名月。水にうつった月などをながめながら、池のまわりを一晚中歩いてしまった。

夏河を越すうれしさよ手に草履

与謝蕪村

夏の日に、手に草履を持って川を渡ると、川の水がつめたくて気持ちがよく、うれしくなることだ。

雀の子そのけそのけ御馬が通る

小林一茶

雀の子よ、あぶないから、そこをどきなさい。お馬さんが通るよ。

中秋





じょうほう

# 集めるときに使おう 要約するとき



- 話や本、文章の内容を短くまとめることを、**要約**といいます。長い文章や本の内容を説明したり、しようかいいしたりするときには、次のことに気をつけて、**要約**しましょう。
- 要約する目的や、まとめる分量などをたしかめる。
- 説明する文章や意見文、物語など、元の文章のしゅるいに合わせてまとめる。
- 要約した部分と、自分の感想や意見とを区別する。

要約

## ● 説明する文章や意見文を要約するとき

- 話題をおさえ、くり返し出てくる言葉や、まとまりの中心となる文に気をつけてまとめる。
- 全体のまとめや、問いに対する答えの部分を中心にまとめる。

### 自分の意見

写真を使って何かを伝えるときには、中谷日出さんの「アップとルーズで伝える」を読むとさんこうになります。これには、次のようなことが書かれています。

### 要約した部分

写真は、広いはんいをうつす「ルーズ」を選び、組み合わせることが大切です。アップは、細かい部分の様子が分かりますが、うつされていない部分は分かりません。ルーズは、広いはんいの様子が分かりますが、細かい部分は分かりません。テレビや新聞では、目的におうじてアップとルーズを選んで使います。アップとルーズをいしきすれば、伝えたいことが、受け手にとどくのです。

### 自分の意見

このように、中谷さんは、写真のしめし方について大切にしたいことを書いています。写真で何かを伝えるとき、ぜひ読んでください。

15

10

5

## ● 物語のあらすじを伝えるとき

- 中心となる登場人物が、いつ、どこで、何をしたのかを落とさずにまとめる。
- どんな出来事が起こるかや、人物の変化が分かるようにする。

### ▼ 「思いやりのデザイン」(48ページ)を、内

容を知らない人に説明するつもりで、百字程度で要約しましょう。そして、次のことに気をつけて、友達と読み合みましょう。

- 必要な言葉や内容がぬけていないか。
- まとめ方を工夫しているところはあるか。

### 🌸 いかそう

話や本、文章の内容をほうこくしたり、それをもとに自分の意見を伝えたりするときなどにいかしましょう。

10

5

約  
ヤク

📖  
155  
ページ

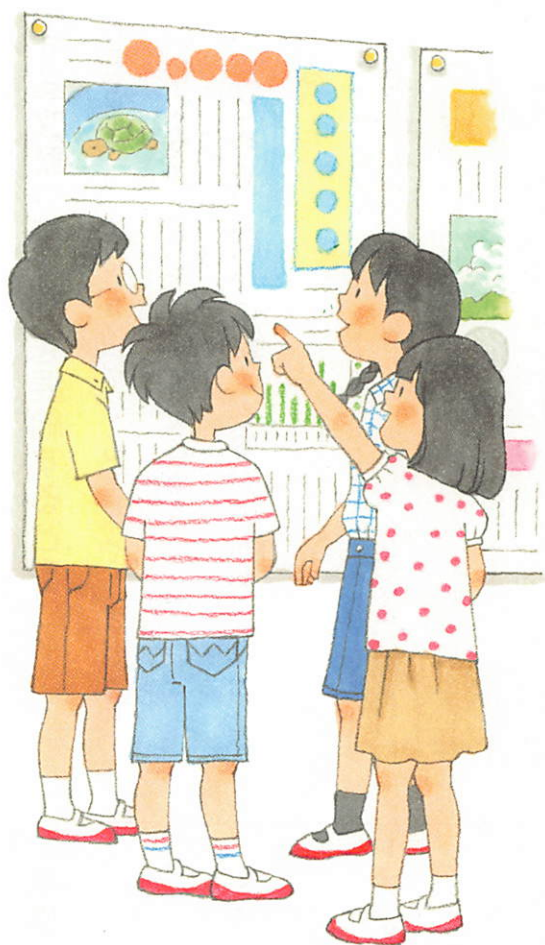




事実を分かりやすくほうこくしよう

## 新聞を作ろう

新聞は、さまざまなじょうほうを、多くの人に知らせる目的で作られます。みなさんも、自分たちが伝えたいことをグループで考え、新聞にまとめましょう。最も伝えたいことが読み手に伝わるように、書き方を工夫しましょう。



● たしかめよう

「三年生の学びをたしかめよう」

「要約するとき」

● 学習の進め方

86ページ  
6ページ

決めよう  
集めよう

- 1 新聞のとくちょうをたしかめる。
- 2 どんな新聞を作るかを話し合う。
- 3 取材をする。

組み立てよう

- 4 わりつけについて話し合う。

書こう

- 5 記事を書く。
- 6 新聞を仕上げる。

つなげよう

- 7 読み合って、感想を伝える。

● ふりかえろう

# 1 新聞のとくちょうをたしかめよう。

新聞を見て、とくちょうをたしかめましょう。どんなことが書かれていますか。読み手に分かりやすく伝えるために、どんな工夫がされていますか。



新聞名、発行日、発行者

見出し

短い言葉で、記事の内容を表す。

写真・絵・図・表など

記事をより分かりやすくするために、文章と組み合わせて効果的に使われる。

新聞名、発行日、発行者が書かれているね。



図や写真があつて分かりやすい。



見出しを読むだけで、何の記事が分かるよ。



いろいろな話題がのっているね。



見出し

工夫

160ページ



## 2 どんな新聞を作るかを話し合おう。

グループで話し合って、テーマを決めましょう。

### ■テーマの例

- クラスの出来事
- 学校の行事
- ちいきの行事
- 町の安全 など

他にも、次のことについて話し合いました。

- 読み手に伝えたいことは何か。
- 調べ方をどうするか。
- どの記事を、だれが書くか。

## 3 取材をしよう。

取材をするときには、次のことに気をつけましょう。

- 調べたことはメモを取るなどして、正しくきろくする。
- 必要があれば、とっていいかをきいてから写真をとる。
- 数や名前のまちがいがなければいいかをたしかめる。

出来事だけじゃなくて、このクラスのいいところも伝えたいな。

だれかにインタビューして、四年一組がどんなクラスかをきいてみよう。

### ■取材のしかた

- 実際に見て調べる。
  - インタビューをする。
  - 図書館やインターネットで調べる。
  - アンケート調査をする。 など
- 「アンケート調査のしかた」  
96ページ

### 取材

159ページ





#### 4 わりつけについて話し合おう。

記事の大きさと、入れる場所を決めることを、「わりつけ」といいます。取材メモをもとにグループで話し合い、次のことを決めて、わりつけをしましょう。

- ・新聞の最初に、いちばん大きく取り上げたい記事。
- ・事実を分かりやすくしめすために、必要な記事の大きさ。
- ・写真や図、表などの大きさ、場所。

新聞の名前	カメのこと
中休みの遊び	クラスのいいところ
ゴーヤのこと	

新聞の名前をどうするかも、話し合って決めましょう。



わりつけ

159 ページ

## 5 記事を書こう。

実際の新聞をさんこうに、記事の書き方を考えましょう。例えば、次のような書き方があります。

- 最初にいちばん言いたいことを書く。
- 事実が正しく伝わるように書く。
- 見出しに、伝えたいことをまとめる。
- 内容を知らない人が読んでも分かるように、必要などころには説明をくわえる。
- 写真や図、表を使って、分かりやすくしめす。

何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考えて、新聞を作りましょう。写真や図などを使うときは、伝えたい内容と目的に合ったものを用意するようにしましょう。

## ■記事の下書きの例

見出し

中休みアンケート 体を動かす遊びが大人気

二はんだは、中休み組の三十人アンケートをし  
ているのか、四年一組の三十人中二十  
を取りました。そのきっかけ、答えました。  
を、体を動かす遊びをするときは、答えました。  
人が体を動かす遊びをするときは、答えました。  
ンケートのくわしいポイントは、ボール  
やサッカー、バスケットボール、その他  
ル遊びが十六人、バスケットボール、その他  
遊具を使った遊びが七人、その他

記事が長すぎて、分かりにくい。細かい数字は、グラフで表そうかな。



## 6 新聞を仕上げよう。

事実や文章の書き方にまちがいがなければ、分かりやすく伝えられているかを、グループで読み合ってたしかめましょう。まちがいがなければ、清書した記事をはり合わせて、新聞の完成です。

記事を読み合うときには、次のことに気をつけましょう。

- 文字のまちがいはないか。
- 句読点や符号の使い方はよいか。
- 主語と述語は合っているか。
- 「です」「ます」と、「だ」「である」が交ざっていないか。
- 事実のあやまりはないか。
- 読み手に分かりやすく伝わるか。

10

5



完成 清書



# やっと決まった カメの名前はビッグ



ひなたぼっこするビッグ

六月八日の学級会で、カメの名前は「ビッグ」に決まりました。四年一組では四月からカメをかっていましたが、まだ名前が決まっていまじせんでした。クラスのみんなどはそれぞれに好きなよび

## 大きく育て

方をしていたのですが、クラスでかっているのだから名前をつけてあげようという意見が出て、学級会で話し合うことになりました。

学級会では、「カメキチ」「トム」「タートル」などたくさん意見が出されましたが、カメがとても大きいこと、これからも大きく育ててほしいことから、「ビッグ」となりました。

名前が決まったことで、ビッグの水そうには生き物係の作ったなふだがつけられました。(竹中)

4年1組

# にっこにっこ新聞

6月19日

4年1組2はん

アンケート  
けっか  
ぼうこく

## 中休み、人気なのはこれだ

二はんでは、中休みにどんなすこし方をしているのか、四年一組の三十人にアンケートを取りました。そのけっか、三十人中二十三人が体を動かす遊びをする と答えました。その中でもドッジボールなどのボール遊びが人気を集めました。(原田)

### 小山先生インタビュー

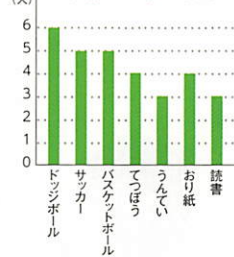
### 四年一組はなかよしクラス



たんにんの  
小山先生

四年一組のよいところについて、たんにんの小山先生にお話をうかがいました。「四年一組というところが

◎中休みのすこし方



よし三十人組」という言葉がかびます。だれかがこまっていると、どこからともなく助けてあげる人があらわれて、いつのまにか、かいつしていている。すてきなクラスですね。」ということしてた。

運動会の際に「三十人三十一きやく」に取り組んだことで、四年一組のなかのよさが強まったのだと思います。(木村)

## ゴーヤ順調



順調に育つゴーヤ

四年一組がたんどうして、一階で育てているゴーヤが、順調に育っているのはいいです。緑のカーテンができる と、教室の中の温度が三度ひくくなるというデータもあります。「緑のカーテン図鑑」(緑川れい著、ひかり書店)によると、暑くなってきたからは、一日に二回、水をやる必要があるそうです。校内がすずしくなるかどうかは、これから四年一組のみんなが、きちんと水をやるかどうかにかかっています。(北山)

## 7 読み合って、感想を伝えよう。

書いた新聞を読み合い、書き方や内容について感想を伝え合いましょう。ろう下にはって、ふせんを用意し、いろいろな人に感想を書いてもらってもいいですね。

### ■新聞の書き方について



アンケートのけっかが、グラフと文章で表されていて、分かりやすかったです。

### ■内容について



緑のカーテンができるのが、とても楽しみです。



## ふりかえろう

- 知る 記事を書くときに、どんな言葉の使い方の工夫をしましたか。
- 書く 新聞のわりつけや、記事の組み立てを考えると、気をつけたのは、どんなことですか。
- つなぐ 次に新聞を作るときには、どんな工夫をしたいですか。



たいせつ

## 事実を分かりやすく伝える

- 伝えたいことを中心に明らかにする。
- 文章の書きだしに、最も伝えたいことを書く。
- 見出しに、伝えたいことを短くしめす。
- 写真や図表を組み合わせて、分かりやすくしめす。



たいせつ

学習したことや、学校での出来事などをほうこくするときには、読み手に分かりやすく伝えるよう、文章の書き方や見せ方を工夫しましょう。

# アンケート調査のしかた

多くの人の考えを知るための方法に、アンケート調査があります。

## アンケートを作るとき

- 何について調べるのかを話し合う。
- だれに、どんなことをきくとよいかを考える。
- 答える人にとって、答えやすい問いを作る。
- 回答をおおまかに予想し、回答のしかた（答えを文章で書きこむ、用意された答えの中から選ぶ）を決める。

10

5

### 答えを文章で書きこむもの

問い1 ふだん、中休みは、どんなすごし方をしますか。一つだけ書いてください。

答え

問い2 雨の日の中休みは、どこですごしますか。一つ選び、○をつけてください。

答え (ア)教室 (イ)学校図書館 (ウ)体育館


■アンケート用紙の例

5

### 用意された答えの中から選ぶもの

選ぶ答えの数が決められている場合や、いくつ選んでもいい場合などがある。

回方  
•答トウ。法ホウ

調査   
アンケート

  
160ページ



## アンケートを集計するとき

• 文章で回答してもらったときは、にたものをひとまとまりにしてから数える。

• 集計けっかは、近いものをまとめてグループにし、そのグループに名前をつける。

• けっかは、表やグラフにすると、読む人にとって分かりやすくなる。

「分ける・くらべる」



10

5

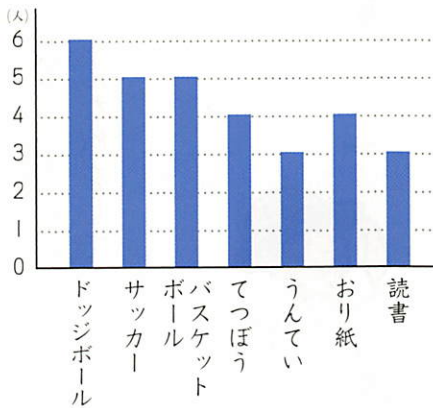
### ■なかま分けしてまとめる

ボールを使って遊ぶ	ボールを使って遊ぶ	ドッジボール 六人 サッカー 五人 バスケットボール 五人
遊具を使って遊ぶ	遊具を使って遊ぶ	てつぼう 四人 うんてい 三人
室内ですごす	おり紙 読書	おり紙 四人 読書 三人

5

### ■表やグラフで伝える

中休みの過ごし方		人数
ボールを使って遊ぶ	ドッジボール	6
	サッカー	5
	バスケットボール	5
遊具を使って遊ぶ	てつぼう	4
	うんてい	3
室内ですごす	おり紙	4
	読書	3



清

セイ  
きよい  
きよまる

完

カン

法

ハウ



155  
ページ



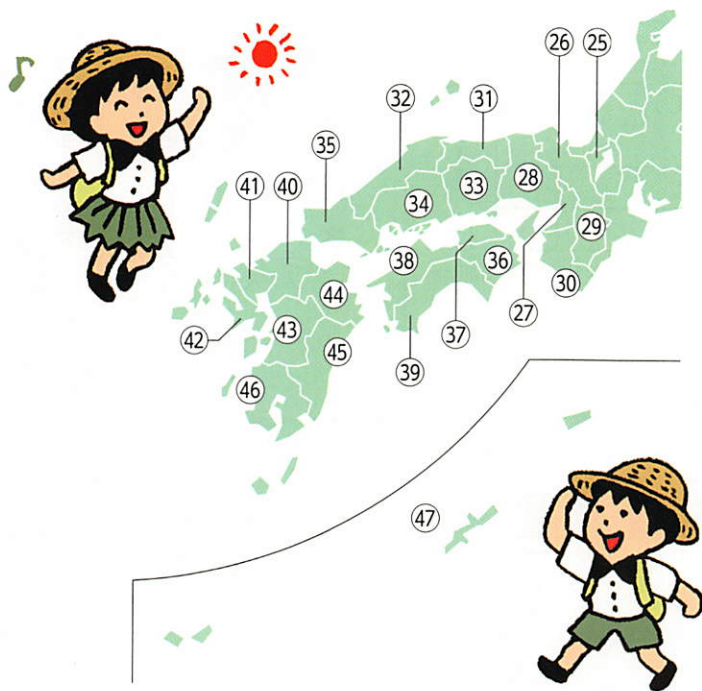
## カンジーはかせの 都道府県の旅 2

カンジーはかせたちは、都道府県をめぐる旅をつづけています。どんな旅をしているのか想像しながら、——線の都道府県名を使った文を作りましょう。

- ②5 滋賀県の琵琶湖は、日本一大きい湖だ。
- ②6 京都府には、古い町なみがのこっている。
- ②7 たこやきは、大阪府の名物だ。
- ②8 国宝の姫路城は、兵庫県にある。
- ②9 奈良県で大仏とシカを見る。
- ③0 うめぼしは、和歌山県の特産品だ。
- ③1 鳥取県には、さきゆうがある。
- ③2 島根県には、しじみがよくとれる湖がある。
- ③3 岡山県は、マスカットの産地だ。

10

5



- ◆ 滋賀 (しが)
- ◆ 大阪 (おおさか)
- ◆ 奈良 (なら)
- ◆ 鳥取 (とっとり)

③4 広島県では、かきのようしよくがさかんだ。

③5 ふぐ料理は、山口県の名物の一つだ。

③6 徳島県は、阿波おどりが始まった場所だ。

③7 香川県のうどんは、全国的に有名だ。

③8 たいめしは、愛媛県のきょうと料理だ。

③9 かつおのたたきは、高知県の名物だ。

④0 とんこつラーメンは、福岡県から全国に広まった。

④1 有田焼は、佐賀県の工芸品だ。

④2 長崎県では、ちゃんぽんがよく食べられる。

④3 熊本県は、トマトの生産量が多い県だ。

10

④4 大分県では、多くの温泉がわき出ている。

④5 チキン南蛮は宮崎県で生まれた料理だ。

④6 桜島は、鹿児島県にある活火山だ。

④7 沖縄県の海では、サンゴが見られる。

5

▼——線の都道府県名を、ローマ字で書きましょう。「ローマ字の表」  
136ページ

都道府県の漢字が使われている言葉をさがすのも楽しいぞ。



- 徳島
- 香川
- 佐賀
- 長崎
- 熊本
- 沖縄
- 鹿児島

◆愛媛 (媛)

◆大分

◆鹿児島 (鹿)

155ページ

- 滋 (ジ)
- 阪 (ハン)
- 徳 (トク)
- 香 (カ)
- 佐 (サ)
- 賀 (ガ)
- 崎 (サキ)
- 熊 (クマ)
- 沖 (オキ)
- 縄 (ナワ)
- 媛 (エン)
- 鹿 (シカ)



# 夏の楽しみ

行事は、ちいきによって行い方や時期がちがいます。みなさんのちいきには、どんな夏の行事がありますか。行事の様子を俳句で表しましょう。

# 六月

みなづき  
水無月

## ◆ ころもがえ (一日)

季節に合わせた、服の入れかえ。六月一日に夏用に、十月一日に冬用にかえる。



ものなくて 軽き袂や衣更

かろ たもと ころもがえ

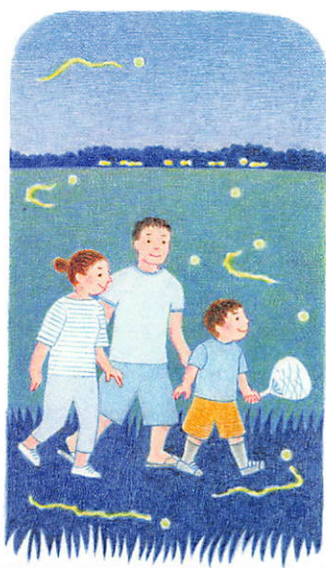
高浜 虚子

たかはま きよし

## ◆ 夏至 (二十一日ごろ)

一年で最も昼の時間が長い日。

## ◆ ほたるがり



父さんも 心がおどる 夏祭り

# 七月

ふみづき  
文月

# 八月

はづき  
葉月

## ◆七夕 (七日)



七夕の日暮れて竹に風早し

色紙のいろ流るるが見ゆ

みやしゅうじ  
宮柵二



せんだい  
宮城県仙台市

## ◆ぼんおどり



かく  
各地のぼんおどり

てのひらをかへせばすすむ踊かな

あわの  
阿波野  
せいほ  
青畝



ぐじょう  
岐阜県郡上市



徳島県徳島市



沖縄県沖縄市



本は友達

# 事実にもとづいて 書かれた本を読もう

実際に起きた出来事や、人々の取り組みの様子など、事実にもとづいて書かれた本（ノンフィクション）を読むことで、心が動かされることがあります。ここでは、ノンフィクションを読み、そのよさを友達と伝え合いましょう。



## ● 学習の進め方

1 ノンフィクションを読んだときのことを思い出す。

2 読みたい本を選んで読む。

「ランドセルは海をこえて」

↓  
107ページ

3 読んだ本をしようかいし合う。





**1** ノンフィクションを読んだときのことを思い出そう。

これまでに、ノンフィクションを読んだことがあるか、友達と話しましょう。どんな本を読み、どう感じましたか。

天然氷を作っている人たちの本を読んだことがある。大きくてきれいな氷を、手作業で作っていると知って、おどろいたよ。



金星探査機「あかつき」のことが書かれた本を読んだ。「あかつき」がむずかしいミッションにしようせんするところが、わくわくするんだ。

いろいろな国の食べ方をしようかいている本を読んだよ。日本と外国とのちがいがおもしろくて、それぞれの国のことをもっと知りたくなった。



**2** 読みたい本を選んで読もう。

ノンフィクションには、さまざまなものがあります。事実の取り上げ方や内容ように注目して、自分が今読みたいと思う本を選びましょう。

「本の世界を広げよう」

 137 ページ

## ドキュメンタリー

出来事や取り組みなどを  
をきろくしたもの

あなたの声がききたい

聴覚障害のある両親に育てられた加奈子さん。つらいことやくろうを乗り越え、手話ができるかんご師になりました。



やんちゃ子グマが  
やってきた!

動物園に、二頭の野生の子グマがやって来ました。二頭の成長を、動物園のスタッフが温かく見守ります。



## ルポルタージュ

筆者が見聞きしたこと  
をほうこくするもの

ランドセルは海を越えて

日本で使われていたランドセルがアフガニスタンに。受け取る子どもたちを、筆者は写真にのこしました。



ゾウの森とポテトチップス

ゾウのくらす森があるボルネオ島と、みんなが食べているポテトチップスには、おどろくような関係があります。



## 伝記

人物がどのように生き  
たかをえがいたもの

ルイ・ブライユと

点字をつくった人びと  
点字は指で読む文字で、世界中で使われています。点字を作ったのは、どんな人でしょう。



葛飾北斎

風景画の浮世絵で有名な、葛飾北斎。まんがやアニメの先がけだと言われています。



筆者が、海外で実際に見たことについて書かれている、「ランドセルは海をこえて」を読んでみよう。

この文章は、107ページから読むことができます。

○未来  
○希望



3 読んだ本をしようかいし合おう。

例をさんこうにして、読んだ本のよさをしようかいする方法を考えましょう。



帯

ポップ

学校は、未来へつながる希望だ。

「ランドセルは海をこえて」

うちぼり  
内堀タケシ 写真・文

使われなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちにおくる活動を、写真でたどる絵本です。色あざやかな写真から、アフガニスタンのくらしの様子がよく分かります。「学校に通う」ということの意味を考えさせられる本です。

ポップでしようかいする例

題名や作者・筆者  
名を書く。

本の内容のかんた  
んなしようかいや、  
感想を書く。

心へのこった文を  
引用する、キャッチ  
コピーを書くなど、  
相手がきょうみをも  
もってくれるように  
工夫をする。



ポップや帯など、本をしようかいするものができあがったら、教室や学校図書館などにてんじして、友達と読み合いましょう。気になったことをきいたり、感じたことを伝えたりしてもいいですね。

ポップにあった、「学校は、未来へつながる希望だ。」という文が、とても心にのこったよ。

わたしはこの本を読んで、学校に通うことの意味について、初めて考えさせられたんだ。



たいせつ  
事実にもとづいて書かれた本を読む

- ノンフィクションには、さまざまな内容のものがある。事実の取り上げ方のちがいなどに着目すると、選びやすい。
- 本を読んだり、しようかいし合ったりすることによって、新しい知識しきをえることができ、自分のきょうみを広げていくことができる。

読んでみよう



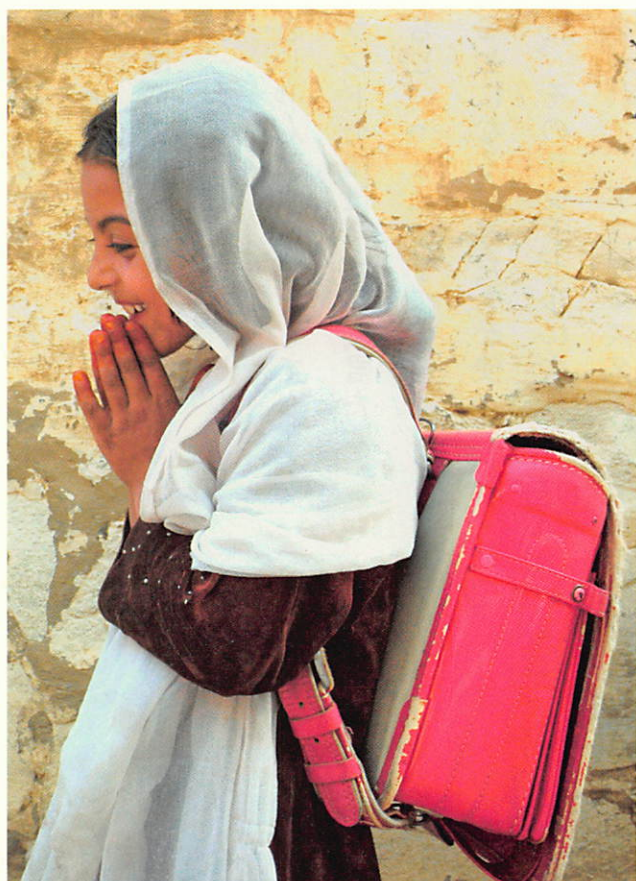
# ランドセルは海をこえて

うちぼり  
内堀 タケシ 文・写真

ぼくは、今アフガニスタンに向かって  
いる。日本で使われなくなったランドセ  
ルをアフガニスタンへおくる活動を写真  
にのこすためだ。ぼくは、十年以上、毎  
年アフガニスタンへ行って、写真をとっ  
ている。空と土。人々のくらし。そして、  
日本からおくられたランドセルと子ども  
たちを。写真を通して、ぼくが目にした  
ことを君たちに知ってもらいたいから。

10

5



104ページで取り上げている本です。ここに書かれ  
た事実を知って、どんなことを感じるでしょうか。

ヨーロッパとアジアと中東ちゆうとうの国々にかこまれた、アフガニスタン。せいじ、宗教しゅうじょう、民族などふくぎつな事情じじょうが原因いんとなつて、長く戦争じようたいがつづいている。また、生まれてから五さいになる前に空腹くふくや病気で死亡ぼうぼうしてしまう子どもが多く、子どもたちが当たり前前に成長することがむずかしい国だ。

それでも、ぼくが出会った人々のひとはとてもかがやいていた。戦争の中を生きてきた人々は、「生きていくこと」のとうとさを知っている。命があるから苦しいことも楽しいことも実感できる。だからこそ、人々は生き生きとしている。

アフガニスタンの小学生は、ランドセル

15

10

5

ルを知らない。使ったことも、見たこともない。日本では、小学校に入学するとき、多くの人がランドセルをじゅんびする。そして、ランドセルは、六年間君たちといっしょに学校へ通うことになる。君たちが使った、そのランドセルに文具を入れて、アフガニスタンの子どもたちにおくる活動が十年もつづいている。

今も戦争じようたいのアフガニスタンでは、だれもが学校へ通うためのかばんや文具をそろえられるわけではない。だから、おくられたランドセルは、学校

10

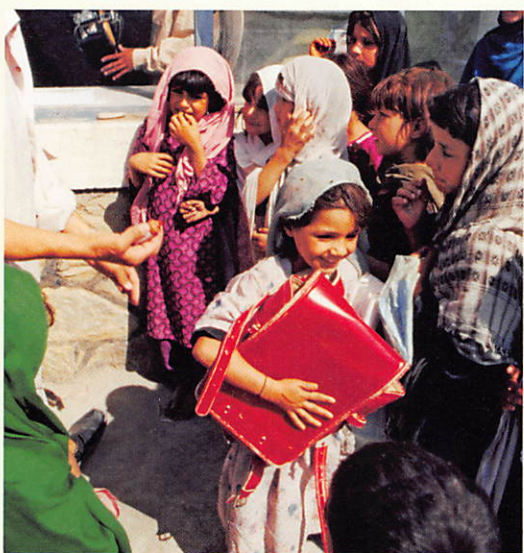
5



### 中東

ヨーロッパから見て東側がわにあるちいきを三つに分けたうちの、中間に当たるところ。イランやイラクなどの国がある。





へ通う小学生のたから物になる。日本からおくられたランドセルを配る日、ランドセルを受け取る子どもたちを見ると、  
ぼくも本当にうれしくなる。  
「ランドセルを持って帰ると、学校が家にやって来たみたい。わたしも幸せだ」

5



けど、家族も幸せ。  
「ぼく、ランドセルをもらってうれしくて、家まで走って帰ったよ。」  
「うれしくてジャンプしたんだ。」  
「幸せ。これで勉強できるんだよ。ほら、すごいよ。」

5



民族





ここは学校。

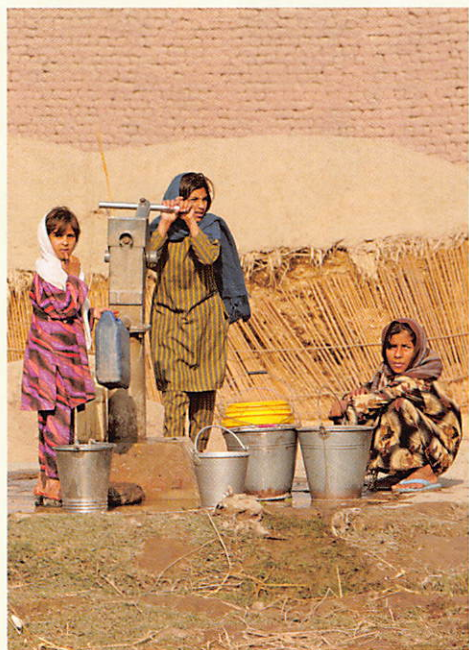
アフガニスタンでは、整備された学校があるとはかぎらない。教科書もノートも、当たり前にあるわけではない。校舎もつくえもいすもなく、地面にすわって勉強をする学校が多くある。小さな黒板だけが学校の印。それでも、みんな勉強が大好きだ。字が読めるようになり、書けるようになり、新しいことをたくさん知る。みんな、すごい集中力。先生の言葉を聞きたいと、じっと前を見ている。じゅぎょう中は、先生のしつもんにいつせいに手をあげ、しんけんに答える。君たちがおくれたじょうぶなランドセルは、かばんとしてはもちろん、つくえの代わりにも使われている。





クラスには、いろいろな年れいの子どもがいる。アフガニスタンでは、子どもたちも大人と同じくらい大切な働き手だ。商売や農業の手伝いはもちろん、水くみ、家畜の世話、すいじせんたく、弟や妹の世話——いろいろな仕事をして、家族とうしでささえ合う。だから、学校に通い

5



始める年れいが、ちがってくる。まずしい家庭では、きょうだい全員が学校に行けるとはかぎらない。だれが、いつ学校に行けるかは、そのときどきの家の事情でかわってくる。

そういうかんきょうでは、ランドセルは大きな意味をもつ。同じ村にランドセル

5

◆  
てっだ  
手伝い

はたら  
働きの手







ルをせおった子どもがいることで、学校に行っていない子どもたちの親が、自分の子どもも学校に行かせたいという気持ちになるからだ。紛争が長くつづいてい  
るアフガニスタンには、大人でも文字を読めない人がたくさんいる。文字が読めない  
と、仕事もかぎられる。新聞や本が読めず、社会で起きている出来事を知る  
機会も少なくなる。健康で安全にくらす方法を知ることにもむずかしい。

10

学校は、未来へつながる希望だ。勉強をすることで、文字を覚え、計算もできる  
ようになる。文字を読むことができ

ば、買ってきた薬をいつ、どのくらい飲めばいいのかが分かる。そして、衛  
生的なくらしをして家族を病気から守ることが  
できる。

子どもたちは、学校に行く自分のこと  
だけを考えているのではない。まわりの  
人を助け、人の役に立ちたいと思ってい  
る。まわりの人に助けられながら、自分  
の命があることを知っているからだ。

ぼくが子どものころ、こんなにしん  
んに家族やしょうらいのこと、そして命  
のことを考えたことはなかった。

君は、どうですか。

10

5

健康

内堀 タケシ

一九五五年、東京都生まれ。写真家。国内外の各地を広く取材している。

この文章は、二〇一三年に書かれた。

未

希

望

民

働

健

康



詩を味わおう

# 忘れもの<sup>わす</sup>

高田<sup>たかだ</sup>  
敏子<sup>としこ</sup>

入道雲にのって

夏休みはいつてしまった

「サヨナラ」のかわりに

素晴<sup>すば</sup>らしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお

木々の葉の一枚<sup>まい</sup>一枚が



あたらしい光とあいさつをかわしている

だがキミ！ 夏休みよ

もう一度 もどってこないかな

忘れものをとりにさ

迷子まいごのセミ

さびしそうな麦わら帽子ぼうし

それから ぼくの耳に

くっついて離れない波はなの音

# ぼくは川

阪田 寛夫  
さかた ひろお

じわじわひろがり

背せをのばし

土と砂すなとをうるおして

くねって うねって ほとばしり

とまれと言っても もうとまらない

ぼくは川

真っ赤な月にのたうったり

砂漠さばくのなかに渴かわいたり

それでも雲うみの影かげうかべ

さかなのうろこを光らせて

あたらしい日へほとばしる

あたらしい日へほとばしる

5

学習

●それぞれの詩の「ぼく」は、どんな思いをもっていますか。それは、どのような言葉や表現で表されていますか。

10

◆真まっ赤か

この本、読もう

元気がでる詩  
4年生





# あなたなら、どう言う



●弟

たなをそうじするために、おもちゃや本を出していた。



●お姉さん

これから友達が遊びに来るので、部屋をきれいにしたいと思っている。

お姉さんが家に帰ってきたら、弟のおもちゃや本が部屋中に散らかっていました。あなたがお姉さんの立場だったら、弟に対してどう言いますか。

○散らかる  
命レイ令

1 グループで役わりを決め、それぞれの立場でや

り取りをしてみましよう。どうしたら、おたが  
いになつとくして、したいことができるでしょ  
うか。

■お姉さんの役

友達が遊びに来るか  
ら、早くかたづけてよ。

■やり取りを聞く人

■弟の役

これからたなをきれ  
いにするんだよ。せつ  
かく物を出していたと  
ころなのに――。

役わりを交代して、何度かやり取りを行っても

いいですね。



2 それぞれの役の人は、やり取りのときに、なぜ

そのようない方をしたのかを話しましょう。  
その後、グループで、感じたことやどう言えば  
よかったのかを伝え合ひましよう。

ぼくは、弟の役をしたんだ  
けど、なんとなく命令された  
と感じて、――。



自分とはちがう立場になって考える

- それぞれの立場や、その人が何を知っているかによつて、感じることや考えることはちがってくる。
- 自分がどう思うかだけでなく、もしその人の立場だったらどう思うかを考える。

自分とはちがうさまざまな立場になって考えてみると、よりよい言い方が見つかることがあります。

散 令

サン  
ちる  
ちらす  
ちらかす  
ちらかる



生活の中で読もう

# パンフレットを読もう

## 1 パンフレットを見てみよう。

身の回りのさまざまなところで、パンフレットを見ることがあります。

パンフレットは、場所や物などについて、説明をしたり、よさを知らせたりするためのものです。

手軽に持ち運べて、それを見ながら行動できるように、絵や写真と短い文章で作られています。

10

5

■パンフレットの例



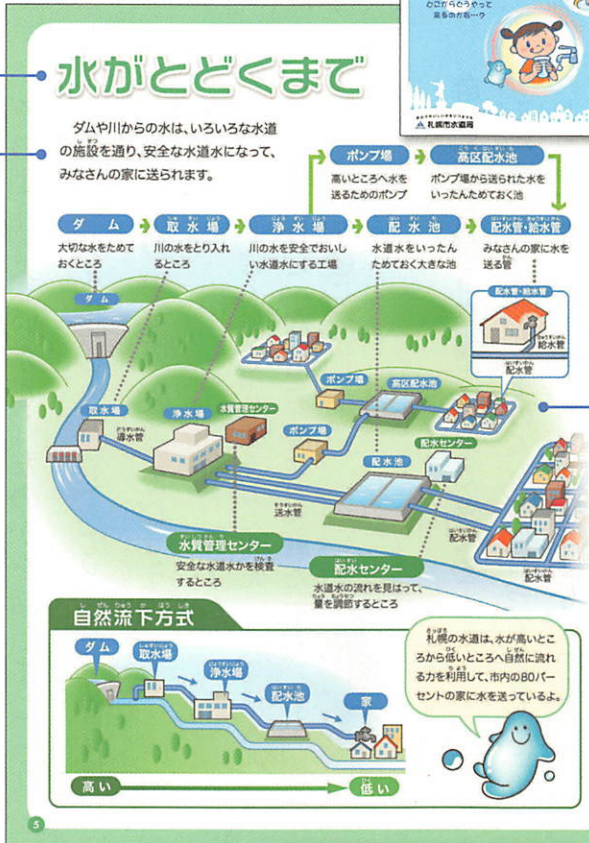
表紙  
タイトル

五ページ目

絵

見出し

短い文章



(札幌市水道局より)



## 2 パンフレットを読む。

あるちいきの中央清掃工場<sup>せうじょう</sup>では、社会科見学に来る子ども向けに、122・123ページののようなパンフレットが作られています。

① パンフレットを見て、気づいたことはありますか。次の点から考えて、ノートに書きましょう。

- 文字の大きさや位置
- 文章で書かれていること
- 絵でしめされていること
- 文章と絵との関係

大きな文字で書かれているところがあるね。どうしてだろう。



10

5

② 次のことを知りたいときには、パンフレットのどこを読むとよいか考えましょう。

- 中央清掃工場のとくちよう
- ごみ処理<sup>しよ</sup>の仕組み

③ 中央清掃工場のパンフレットには、

どのような工夫がありますか。パンフレットを見てもらう目的や、相手のことを考え、話し合いました。

- パンフレットを読むときには、知りたいことに合わせて、どこを読めばいいかを考える。
- パンフレットが作られた目的や、伝えたい相手をふまえて読む。

10

5

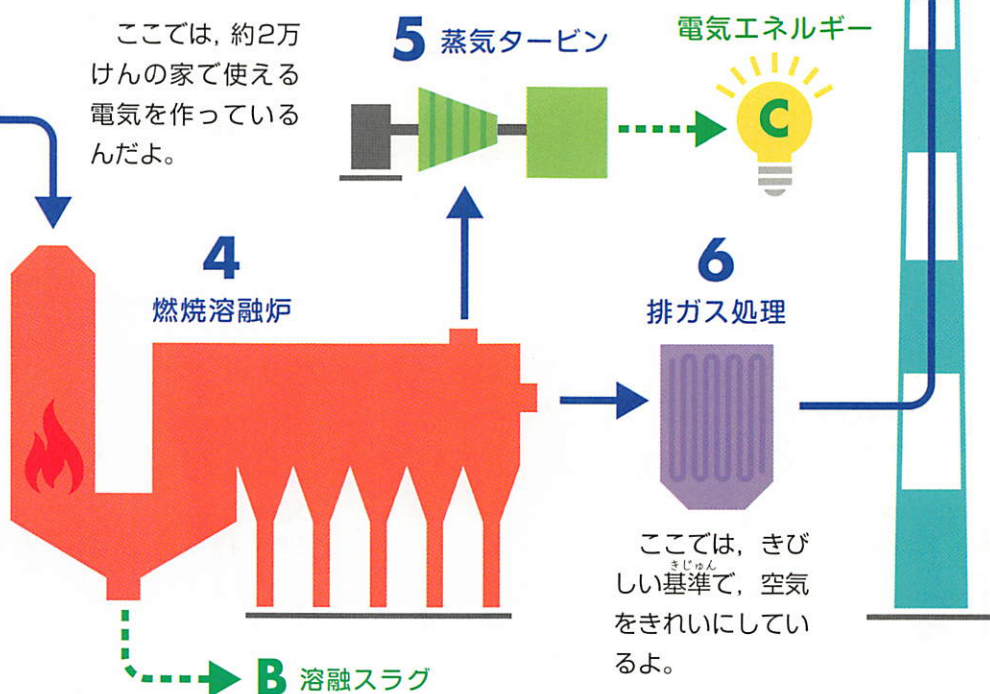
○位<sup>イ</sup>  
○置<sup>チ</sup>

# ごみを処理しているのかな？

## 中央清掃工場は、地球にやさしい！

工場で発生した熱と水蒸気は、〇〇市立アクアセンターの温水プールにも利用されているよ。  
また、えんとつから出る空気は、有害物質をしっかりとりのぞいているから、とてもきれいなんだ。

ここでは、約2万  
軒の家で使える  
電気を作っている  
んだよ。



### 4 燃焼溶融炉

さらに高温にして、  
ガスと炭を完全にもやし、  
灰をとかす。

### B 溶融スラグ

灰をとかしてできたスラグは、道路などに使われる。

### 5 蒸気タービン

ごみをもやした熱で、  
水を水蒸気にかえて、  
蒸気タービンを回す。

### C 電気エネルギー

蒸気タービンを回して発電された電気は、工場内のエアコンや照明などに使われる。

### 6 排ガス処理

排ガス中の有害物質を取りのぞき、きれいな空気にする。

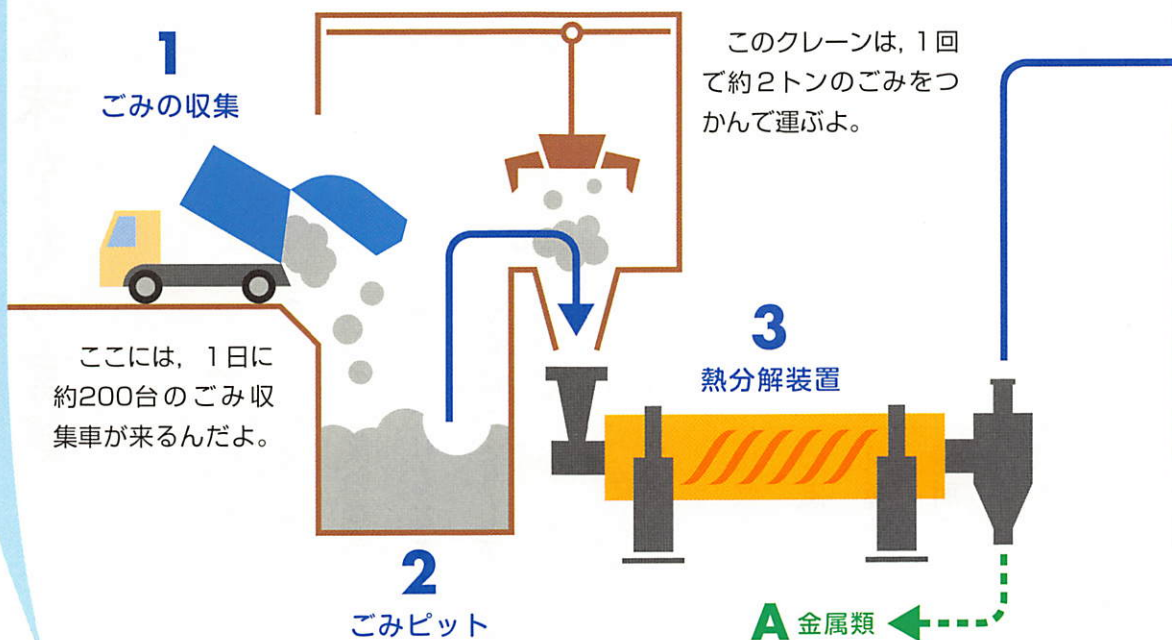
# 中央清掃工場はどのように

## 中央清掃工場

- 処理するもの：もえるごみ
- 処理できる量：1日<sup>りょう</sup>で450トン
- 発電する電気の量：9,600キロワット



## ごみ処理の流れ



### 1 1 1 ごみの収集

ごみ収集車<sup>しゅう</sup>が、もえるごみを集めてくる。

### 2 2 2 ごみピット

ごみをためておく。

### 3 3 3 熱分解装置

ごみを蒸し焼きにして、もえやすいガスと炭にする。

### A 金属類

ごみにまざっていた金属は、回収されて再生金属の材料になる。

ごみをリサイクルする

位  
く  
ら  
い

置  
お  
く

↓  
156  
ペ  
ー  
ジ



# いろいろな意味をもつ言葉

はっけよい すもうとる

こんにちは ぼうしとる

てんどんの でまえとる

セーターの ごみをとる

のらねこの しゃしんとる

右は、「とる」(川崎洋かわさきひろし)という詩の一部分です。

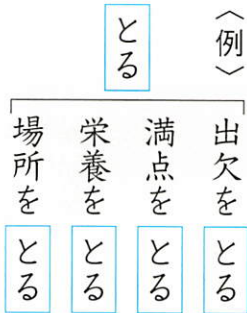
この詩では、「とる」という言葉がいろいろな意味で使われています。動作をしたり、他の言葉に言いかえたりして、それぞれの意味を考えてみましょう。

10

5

言葉には、かなで書くと同じでも、いろいろな意味をもつものがあります。これらの言葉の意味は、多くの場合、文中で使われるときの、他の言葉との関係からはつきりしてきます。

1 次の□に入る言葉を考えましょう。



10

5

出欠 ケツ  
満点 マンテン  
栄養 エイヨウ  
場所 バシヨ

欠 ケツ かける  
 満 マン みちる  
 栄 エイ さかえる  
 養 ヨウ やしなう  
 卒 ソツ  
 結 ケツ むすぶ  
 果 カ はたす  
 漁 ギョ リョウ  
 径 ケイ  
 副 フク  
 臣 ジン  
 梅 バイ うめ  
 灯 トウ  
 貨 カ  
 単 タン  
 結 ケツ むすぶ  
 果 カ はたす  
 漁 ギョ リョウ

2 次の言葉を国語辞典を使って調べ、

1 と同じように問題を作りましょう。

- あがる
- たてる
- みる

①

卒業式に	□
単行本が	□
結果が	□
漁に	□

②

時間を	□
直径を	□
重さを	□
交流を	□

③

副大臣に	□
気に	□
手本に	□
梅の実が	□

④

街灯が	□
もちを	□
百貨店に	□
きずが	□

10

5

3 次の言葉を使い、「とる」という詩にな

らった言葉遊びの詩を作りましょう。

ひく



かける



いかにそつ



国語辞典で引いた言葉に、いくつか意味がある場合は、文章の内容に合うものはどれかを考えましょう。

5

- 卒業式
- 単行本
- 結果
- 漁
- 直径
- 副大臣
- 梅
- 街灯
- 百貨店





# 漢字の広場

3年生で  
習った漢字

## 3

場面や出来事を考えながら、二つの昔話を完成させましょう。

「そして」「しかし」など、つなぎ言葉を使ってみましょう。

〈例〉 おじいさんは、急いでおにぎりを追いかけました。しかし、おにぎりはどんどん転がっていきます。





付録

# 学習を広げよう

「たいせつ」のまとめ……………128

課題の見つけ方、調べ方……………132

げんこう用紙の使い方……………134

ローマ字の表……………136

本の世界を広げよう……………137

山ねこ、おことわり あまん きみこ……………140

これまでに習った漢字……………146

この本で習う漢字……………152

言葉のたから箱……………157





つなげる

話す・聞く

じゅんびする

決める  
集める



たいせつ

# 「たいせつ」のまとめ

- この本で学習する、大切なことをまとめていきます。
- たしかめたり、他の学習で使ったりしましょう。
- できるようになったことを、どんな場面でいかしたいですか。くうらんに書きましょう。

## 聞きながらメモを取るときは

- ひつよう必要なことは何かを考え、大事な言葉を書く。
- 短い言葉で書く、記号を使う、かじよう書きにするなどして、すばやく書く。
- 聞き取れなかったことは、後でしつもんできるように印しるしをしたり、書くところを空けておいたりする。
- 話が終わったら、すぐにメモを読み返し、書き足すなどして整理する。

 43ページ



こんな場面でいかそう



つなげる

書く

組み立てる

決める  
集める

### 手紙で気持ちを伝える<sup>つた</sup>

- 何に対して、どんな気持ちなのかを書く。
- 手紙の型<sup>かた</sup>にそって、ていねいな言葉を使って書く。

### 事実を分かりやすく伝える

- 伝えたいこと<sup>こと</sup>の中心を明らかにする。
- 文章の書きだしに、最も伝えたいこと<sup>こと</sup>を書く。
- 見出しに、伝えたいことを短くしめす。
- 写真や図表を組み合わせて、分かりやすくしめす。

 65ページ

 95ページ



 こんな場面でいかそう



ひろげる

まとめる

ふかめる

とらえる

説明する文章

筆者の考えをとらえる

 58ページ

● 考えをのべた文章では、文章の初めと終わりの両方で、考えをくり返しのべていることが多い。

● どのような具体例をあげて考えをのべているかなど、段落どうしの関係をたしかめ、筆者の考えをとらえる。

物語

場面と場面のつながりを考える

 28ページ

● 読み深めたいことは何かを、問いの形にしてはつきりさせる。

● 人物や場面の様子を表す言葉に気をつけて、場面と場面のつながりを見つける。

特別な言葉に着目する

 80ページ

物語を読むときには、次の言葉に着目することで、

15

 こんな場面でいかそう

〈説明する文章〉

〈物語〉



作者の思いにせまることができる。

- 題名に用いられる言葉。
- くり返し用いられる言葉。
- 会話の中で用いられる言葉。
- 重要な場面で用いられる言葉。

## 読書

### 事実にもとづいて書かれた本を読む

- ノンフィクションには、さまざまな内容のものがあ  
る。事実の取り上げ方のちがいなどに着目すると、  
選びやすい。

- 本を読んだり、しょうかいし合ったりすることに  
よって、新しい知識をえることができ、自分のきよ  
うみを広げていくことができる。

10



5



106  
ページ

〈読書〉

# 課題の見つけ方、調べ方

## 決めよう

### 1 知っていることを書き出そう

次の手順で調べたいことを見つけましょう。

① 大きな課題を考える。

② その課題について、知っていることを書き出す。

■ わたしたちの町のよさ

花火

きれいな海

緑の遊歩道

夏祭り

和がし

マンゴー

コスモス祭り

かわいい

キャラクター

思いついたことを、  
を、どんどん書いていこう。



5

## 集めよう

### 3 調べよう

調べ方を考えて、調べましょう。うまくいかなかったときや、新たなぎもんが生まれたときは、もう一度計画を立て直しましょう。

計画を立てて、  
始めよう。



本で調べる〈図書館〉

くわしい人に聞く

知りたいことが  
のっている本をど  
うやってさがせば  
いいのかな。



「図書館の達人になろう」

30 ページ

さつまいもから和がし  
を作っているんだよ。





## 2 調べたいことを決めよう

書き出したことを分類し、よりくわしく調べたいものを決めましょう。

■ わたしたちの町のよさ

食べ物

マンガー

和がし

自然しぜん

緑の遊歩道

きれいな海

行事

夏祭り

花火

コスモス祭り

その他

かわいい  
キャラクター

「分ける・くらべる」

9ページ

わたしたちの町の有名な食べ物について、くわしく調べよう。



調べたことを整理する

大事なところを中心に短くまとめよう。

「要約するとき」

86ページ



関連するものどうしをまとめて、見出しをつけておこう。

「分ける・くらべる」

9ページ

わたしたちの町の有名な食べ物について、たくさんの方が分かったよ。

後で読み返せるようにメモしよう。

「聞き取りメモのくふう」

40ページ



実物の写真もとっておこう。

「新聞を作ろう」

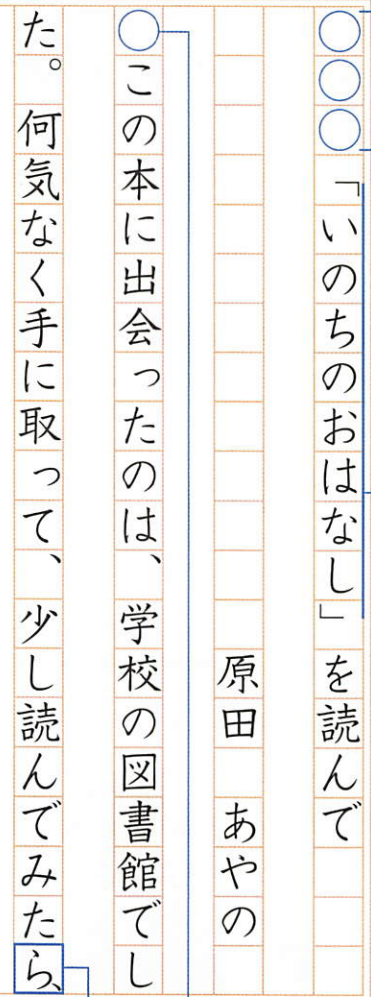
88ページ



# げんこう用紙の使い方

げんこう用紙に書くときには、書き方に気をつけましょう。  
 文章を書き終わったら読み返して、まちがっているところや  
 分かりにくいところがあれば、直しましょう。

1文が長いときは、文を分ける。



題名は、初めはじの行に、上から二、三ます空けて書く。

書名を書くときは、かぎ「」を付けて書く。

書き始めは、一ます空ける。

句点（。）や読点（、）が  
 行の初めに来ないように、  
 前の行のいちばん下のます  
 に、文字といっしょに書く。  
 （ますの下に書くこともあ  
 る。）



文の初めと終わりが対応しているか、文と文をつなぐ言葉（つなぎ言葉）が正しく使えているかなどに気をつける。

わたしと同じ四年生の子どもたちに、おじいちゃんみたいな先生がお話をする、という本<sup>●</sup>だった<sup>●</sup>ので、わたしも本の中でお話を聞いていたつもりで読んでみようと思いました。

○初めのうちは、どンドン読み進んでいたのですが、ある言葉が目に入って、ページをめくる手が止まりました。それは、「いのちはどこにあると思いますか？」という一文です。わたしはこれまで、命がどこにあるかなんて

5

引用するときには、元の言葉や文をそのまま使い、かぎ（「」）を付けるなどして、他と区別<sup>べつ</sup>できるようにする。

行を変えたら、一ます空ける。



# ローマ字の表

ローマ字を書いたり，コンピュータに文字を入力したりするときにはいかにしましょう。

大文字 / 小文字		ア段 A/a	イ段 I/i	ウ段 U/u	エ段 E/e	オ段 O/o			
ア行		あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	K/k	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ行	S/s	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
タ行	T/t	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちょ tyo [cho]
ナ行	N/n	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ行	H/h	は ha	ひ hi	ふ fu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ行	M/m	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ行	Y/y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
ラ行	R/r	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ行	W/w	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を* (o) [wo]			
ン		ん* n							
ガ行	G/g	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ行	Z/z	ざ za	じ ji [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
ダ行	D/d	だ da	ぢ* (zi) [di]	づ* (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ* (zya) [dya]	ぢゅ* (zyu) [dyu]	ぢょ* (zyo) [dyo]
バ行	B/b	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ行	P/p	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[ ] 中の書き方も使うことができる。( ) は，重ねて出しているもの。

\*コンピュータに文字を入力するときは，次のように打ちます。

を → wo ン → nn ぢ → di づ → du ぢゃ → dya ぢゅ → dyu ぢょ → dyo

# 本の世界を 広げよう



## おじいちゃんの 口笛

ウルフ＝スタルク 作  
アンナ＝ヘグルンド 絵  
菱木 晃子 訳

ウルフの話をおじいちゃんに聞いておじいちゃんは、ニルスさんというおじいちゃんに出会います。



## エルマーの ぼうけん

ルース＝スタイルス＝ガネット 作  
ルース＝クリスマン＝ガネット 絵  
わたなべ しげお 訳

エルマーは、のらねこから、どうぶつ島につかまつたりゆうの子の話を聞き、助けに行くことにしました。

## 物語・絵本



## ニレの木広場の モモモ館

高樓 方子 作  
千葉 史子 絵

ニレの木広場で出会ったモカとモモとカンタ。三人は、出会ってすぐに、かべ新聞作りにもちゅうになりました。



## ウエズレー の国

ポール＝フライシユマン 作  
ケビン＝ホークス 絵  
千葉 茂樹 訳

自分だけの作物、自分だけの文字。ウエズレーは、夏休みの自由研究に「自分だけの文明」をつくりま



## 口で歩く

丘修三 作  
立花 尚之介 絵

タチバナさんはベッドにねたきり。でも、びっくり作戦で、友達のうちに遊びに行くのです。



## 外郎売

長野 ヒデ子 絵  
齋藤 孝 編

外郎売とは、「ういろう」という葉を売る人。人々の注目を集めるために、早口で言葉をならべたてています。



## 1つぶのおこめ

デミ 作  
さくま ゆみこ 訳

ある女の子のひらめきが、ききんに苦しむ人々を助けます。一つぶのお米が、二つぶ四つぶとふえていきます。



## 怪盗ブラックの 宝物

那須 正幹 作  
田頭 よしたか 画

怪盗ブラックのたから物の手がかりを見つけた公平たち。なかまとちえをしぼって、たからをさがします。





📖  
こんなふうには  
作られる!

ガム、ギター、消しゴム。これらは全て自然のものから作られています。どうやって作るのでしょうか。

ビル・スレイヴィン 文・絵  
ジム・スレイヴィン 文  
福本 友美子 訳



📖  
都道府県のかたちを  
絵でおぼえる本

都道府県の形をじつとながめてみましょう。動物や人、自動車や果物などの形が見えてきませんか。

都道府県のかたちを  
絵でおぼえる本  
造事務所 編

科学・知識



📖  
決定版!  
富士山まるごと  
大百科

世界文化遺産に登録された、日本一の山「富士山」。地理やれきし、気象や自然登山まで、まるごと分かります。

佐野 充 監修



📖  
にたものずかん  
どっちがどっち?!

ハチとアブのちがいが分かりますか。そんな、「にたもの」たちの見分け方を、分かりやすく説明しています。

今泉 忠明 監修  
高岡 昌江 文  
友永 たる 絵



📖  
視覚ミステリー  
えほん

本をさかさまにすると、へこんでいたものがでっばって見えたりします。自分の目にだまされて、別の世界が見える本。

ウオルター・ウィック  
林田 康一 訳



📖  
骨のひみつ  
人体のしくみがよくわかる!

人の体にはどんな形の骨が、どれくらいあるか知っていますか。外からは見えない骨のひみつをさぐりましょう。

坂井 建雄 監修



📖  
石の中のうずまき  
アンモナイト

川原の石ころの中にうずまき石を見つけたら、それは太古の生物アンモナイトの化石かもしれません。

三輪 一雄 文・絵  
松岡 芳英 写真



📖  
たのしい  
ローマ数字

ローマ数字は、I・V・X・L・C・D・Mの七文字で表します。みんなの周りでもさがしてみましょう。

デビッド・A・アドラー 文  
エドワード・ミラー 絵  
千葉 茂樹 訳



📖  
友達を育てる  
みんなのぎもん

「友達ってどうやって作るの?」「けんかをしてはいけないの?」。友達に関するぎもんに答えてくれる本。



詩・言葉

大人も読みたい  
 こども歳時記  
 長谷川 權 監修  
 季語と歳時記の会 編著



歳時記には、俳句を楽しむヒントがいっぱいです。季語や子どもの作った句が、たくさんしようかいされています。

どうぶつ句会



今年も、ふくろうの家で句会が開かれました。句会とは、俳句を作るために集まる会のことです。動物たちの俳句を、ぜひどうぞ。

あべ 弘士

教室はまちがう  
 ところだ



あなたは、教室で、「はい」と手を挙げられますか。まちがってもだいじょうぶ。みんなでいい教室をつくらう。

蒔田 晋治 作  
 長谷川 知子 絵

読み聞かせ会

クラスの友達や、下の学年の子に、お気に入りの本を読んでしようかいしましょう。



おすすめブックリスト作り

これまでに読んだ本の中から、他の人にもぜひ読んでもらいたい本をいちらん表にしましょう。

おすすめ  
 元気いっぱい外国の物語

4年 | 組 高橋 そら

長くつ下のピッピ  
 アストリッド=リンドグリーン 作  
 9さいの女の子が大かつやくするお話。

ウエズレーの国  
 ボール=フライシュマン 作  
 夏休みに自分だけの文明をつくります。

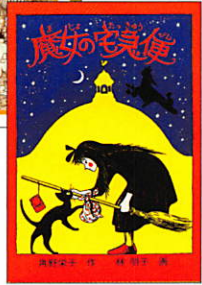
エルマーのぼうけん  
 ルース=スタイルス=ガネット 作  
 りゅうの子を助けにぼうけんに出ます。

長編の作品にちようせん

長編物語は、読む時間はかかりますが、その分、作品の世界を楽しむことができ、読み終えたときに、大きな達成感をえられます。



モモ



魔女の宅急便

# 山ねこ、おことわり

あまん きみこ 作

▼「白いぼうし」に出てきた、タクシー運転手の「松井さん」が登場するお話です。「白いぼうし」と合わせて読んで、不思議な出来事を楽しみましょう。

秋になりました。

あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか、黄色に色づいています。

「このなみ木は、いちようだったのだな。」

ちらっと、ガラスごしに見上げた松井さんの制服も、おとといから、こん色にかわっています。

なみ木の終わったりりんどう橋の上で、わかい男の人が手を挙げているのを見て、松井さんは車を止めました。

「どちらまで。」

「言うとおりに行ってください。」

メーターをカチツと立てて、空色の車は走りだしました。

まっすぐに、ぐんぐん走ります。

「そのポストを、左に曲がって。」

松井さんは、ハンドルを回しました。

「次に、右。」

「また、右。」

「そのたばこ屋を、左。」

「次、左。」

「向こうの花屋を、右。」

お客の言うとおりに、ハンドルを右に回したり左に回したりしているうち、松井さんはどこを走っているのか、さっぱり分からなくなってきました。

見なれない通りばかりです。

すれちがったり、追いついたりしていった車も、人も、自転車も少なくなってきたので、すっかりなくなってしまうしました。

細い一本道に出ました。

両側には、見わたすかぎり、金色のいねのほが、波のようにゆれていきます。

木の葉が、赤や、黄色や朱色にそまっ

15

10

5

たにじのような林に入りました。葉の間から差ししてきた光が線になってゆれ、空色の車も、ぶちぶちにそまって走っていきません。

「来たことのない所だな——。」

松井さんは、みように口の中がねばったような気持ちになってきました。

「ここは、おつかえで谷辺りですか。」

と、思わずたずねました。

するとお客は、のどのおくでごろごろするような、低いやわらかい笑い声を立てました。

いやな笑い方だな、とバックミラーを見た松井さんは、「あつ。」と声を出しそ

うになりました。車が、がくつ、とゆれました。

15

10

5



バックミラーの中の男の顔に、こげ茶のしまの毛が生えていました。

金色の目、しめった黒い鼻、はり金のように、ぴんと横にはったひげ――。

なんと、お客はネクタイをしめた山ねこでした。

松井さんは、カいっばいブレーキをふみました。もうもうと土ぼこりを上げて、車が止まりました。

「おりてくださいいよ。」

松井さんはふり向かないで言いました。声までふるえそうなのを、やっとこらえていたのです。

「こんな所で、おりなくちゃいけないの  
でしようか。」

こう言いながら、お客が松井さんの方

に顔をよせたのか――、生なまぐさいにおいがぶんとしてきました。

「だって、あんたは、山ねこでしょう。」

「でも、この車のどこにも『山ねこ、おことわり』とは書いてなかったですよ。それは、まあ、そうだ、と松井さんは

思いました。

「料りょう金をはらえば、だれであろうと、同じじゃありませんか。」

それもまあ、そうだ、と松井さんはまた、思いました。

「お願ねがいしますよ。なにしろ、急いでいるんです。母が病気になったと、電報でんぽうが来たのですよ。わたしは、医者なのです。といっても、まだ、医者になっ  
たばかりなのですがね。」

15

10

5

15

10

5

送ってやろうかな、いや、送るべきだと松井さんは思いました。そして、ぱちぱちまばたきをして、自分の頭を、三度たたいてみました。それでも決心がかわらなかつたので、はつきりうなずきました。

5

「いいです。お送りしましょう。」

にじの林をすぎると、白いほそ道路に変わりました。

10

両側に、赤い屋根の家が十けんほどならんでいます。そのいちばんおくの家の前に、青いスカートをはいた小さな山ねこが、ひたいに手をかざして、こちらを見えています。

15

空色の車が止まると、飛ぶように車の

そばに走ってきて、かわいい声で言いました。

「お兄ちゃん、早く。早くってば。」

山ねこ先生は、よしよし、とうなずきながらおりましたが、ドアをしめる前に松井さんに言いました。

5

「運転手さん。また病院に帰ります。しばらく待ってください。」

10

「待たせてすみませんでした。おかげで、早く治りなおそうです。なあに、わたしに会いたいので、少し大きさに言っているらしいんですよ。」

車に乗りこんだ山ねこ先生は、笑いながら言いました。さっきの青いスカート

15

の女の子が出てきて、茶色の小さな手を

一生けんめいふっています。

「いちばん下の妹です。早くりっぱな医者になつて、ここに帰つて来なければ、と思ひますよ。」

山ねこ先生も、女の子に手をふりながら、松井さんにこんなことを言つたりしました。

林をすぎ、金色のいねの間の道を走り、町に入ったとき、松井さんは、わざわざふり向いてみました。

後ろのシートにいるのはあたりまえのわかい男の人。そのお客はかた目をつぶつて、にやつと笑ひながら言ひました。

「ほら、そのたばこ屋を右ですよ。」  
「それから、左。」

15

「そのポストを、右。」

こう何回も言われるうちに、ちゃんと、また、りんどう橋に出てきました。

「その先の大学病院です。」

やがて空色の車は、ほりばたの大きな病院の前に、ぴたつと止まりました。

メーターは、いつのまにか、三千八百五十円に上がつています。お金といつしよに、松井さんのてのひらには、はがきを半分にしたぐらいの紙がのせられました。

「これには、人には読めませんが、こう書いてあります。『山ねこ、おことわり』——これを、ドアにはつてください。もうだいじょうぶですよ。」  
先生は、広いかいだんを、すたすたと

15

10

5



かけ上がっていきます。そのせなかを、  
ぽかんと見ていた松井さんは、急にまど  
を開けました。

顔をつき出して、よび止めました。

「や、や、やま。いや、ちよっと——」。

「は。」

と、ふり返った山ねこ先生に、松井さん

は、その小さな紙を、パリパリッとや  
ぶってみせました。

そして、大声で言いました。

「また、いつでも、どうぞ。」

今度は、松井さんがかた目をつぶって、  
にやっと笑いました。アクセルをふむと、

車は、すべるように走りだしました。

# これまでに習った漢字

△は、これから習う読み方。( )は、小学校では習わない読み方。

□ <sub>3</sub> 意 ⑬ イ	□ <sub>3</sub> 委 ⑧ イ ゆだねる	□ <sub>3</sub> 医 ⑦ イ	い	□ <sub>3</sub> 暗 ⑬ アン くらしい	□ <sub>3</sub> 安 ⑥ アン やすい	□ <sub>3</sub> 悪 ⑪ アク わるい (オ) わるい	あ	□ <sub>2</sub> 夏 ⑩ カ なつ	—チェックらん —学年 —漢字 —画数 —読み方			
□ <sub>1</sub> 雨 ⑧ あま △ウ	□ <sub>2</sub> 羽 ⑥ はね (ウ) はね	□ <sub>1</sub> 右 ⑤ みぎ △ウ △エウ	う	□ <sub>3</sub> 飲 ⑫ イン のむ	□ <sub>3</sub> 院 ⑩ イン	□ <sub>3</sub> 員 ⑩ イン	□ <sub>2</sub> 引 ④ ひく ひける △イン	□ <sub>1</sub> 一 ① ひとつ △イチ △イツ	□ <sub>3</sub> 育 ⑧ イク そだつ そだてる はぐくむ			
□ <sub>3</sub> 横 ⑮ よこ オウ	□ <sub>3</sub> 央 ⑤ オウ	□ <sub>1</sub> 王 ④ オウ	お	□ <sub>2</sub> 遠 ⑬ エン とおい (オン) エン	□ <sub>2</sub> 園 ⑬ エン (その) エン	□ <sub>1</sub> 円 ④ まる エン い	□ <sub>3</sub> 駅 ⑭ エキ	□ <sub>3</sub> 泳 ⑧ およぐ エイ	□ <sub>2</sub> 雲 ⑫ くも △ウン	□ <sub>3</sub> 運 ⑫ ウン はこぶ		
□ <sub>2</sub> 何 ⑦ なん △カ	□ <sub>1</sub> 火 ④ ひ (ホ) ひカ	□ <sub>3</sub> 化 ④ かは △カ はかす	か	□ <sub>1</sub> 下 ③ した ゲカ しも	□ <sub>3</sub> 温 ⑫ あたたかい あたたまる あたためる オ あたたか	□ <sub>1</sub> 音 ⑨ ね (オン) オン	□ <sub>3</sub> 屋 ⑨ や オク					
□ <sub>3</sub> 界 ⑨ カイ	□ <sub>2</sub> 海 ⑨ うみ △カイ	□ <sub>2</sub> 会 ⑥ あひ (エ) カイ まわす		□ <sub>2</sub> 回 ⑥ まわす (エ) カイ	□ <sub>2</sub> 画 ⑧ えがく △カク	□ <sub>2</sub> 歌 ⑭ うた うたう カ	□ <sub>3</sub> 荷 ⑩ に (カ) カ	□ <sub>2</sub> 家 ⑩ いえ △カ ケカ	□ <sub>2</sub> 夏 ⑩ なつ (ゲ) カ	□ <sub>2</sub> 科 ⑨ カ	□ <sub>1</sub> 花 ⑦ はな カ	
□ <sub>2</sub> 活 ⑨ カツ	□ <sub>2</sub> 楽 ⑬ たのしい △ラク △ガク	□ <sub>1</sub> 学 ⑧ まなぶ ガク		□ <sub>2</sub> 角 ⑦ かく △カク △カド	□ <sub>2</sub> 外 ⑤ そと (ゲ) ガイ	□ <sub>1</sub> 貝 ⑦ かい	□ <sub>3</sub> 階 ⑫ カイ	□ <sub>3</sub> 開 ⑫ あける ひらく ひらく △カイ	□ <sub>2</sub> 絵 ⑫ エ △カイ			
□ <sub>2</sub> 汽 ⑦ キ	□ <sub>1</sub> 気 ⑥ ケキ	き		□ <sub>2</sub> 顔 ⑮ かほ △ガン	□ <sub>2</sub> 岩 ⑧ いわ △ガン	□ <sub>3</sub> 岸 ⑧ きし ガン	□ <sub>2</sub> 丸 ③ まる まるい △ガン	□ <sub>3</sub> 館 ⑮ やかた カン	□ <sub>3</sub> 漢 ⑬ カン	□ <sub>3</sub> 感 ⑬ カン	□ <sub>2</sub> 間 ⑫ ま あいだ カン	□ <sub>3</sub> 寒 ⑫ さむい カン

□ <sub>3</sub> 宮 ⑩ キユウ (グウ) みや	□ <sub>3</sub> 級 ⑨ キユウ	□ <sub>3</sub> 急 ⑨ キユウ いそぐ	□ <sub>3</sub> 究 ⑦ キユウ (きわめる)	□ <sub>1</sub> 休 ⑥ キユウ やすむ やすまる	□ <sub>2</sub> 弓 ③ キユウ ゆみ	□ <sub>1</sub> 九 ② キユウ ク このこのつ	□ <sub>3</sub> 客 ⑨ キヤク (カク)	□ <sub>3</sub> 期 ⑫ キ (ゴ)	□ <sub>2</sub> 帰 ⑩ キ かえる かえす	□ <sub>3</sub> 起 ⑩ キ おきる おこす	□ <sub>2</sub> 記 ⑩ キ △しるす
---	---------------------------------	--	---	--	---------------------------------------	---	---	--------------------------------------	---	---	---------------------------------------

□ <sub>1</sub> 玉 ⑤ △ギョウ たま	□ <sub>3</sub> 局 ⑦ キョク	□ <sub>3</sub> 曲 ⑥ キョク まがる	□ <sub>3</sub> 業 ⑬ ギョウ (ゴウ) わざ	□ <sub>3</sub> 橋 ⑬ キョウ はし	□ <sub>2</sub> 教 ⑪ キョウ おしえる おそわる	□ <sub>2</sub> 強 ⑪ キョウ (ゴウ) つよい つよまる	□ <sub>2</sub> 京 ⑧ キョウ (ケイ)	□ <sub>2</sub> 魚 ⑪ ギョ △うお さかな	□ <sub>3</sub> 去 ⑤ キョ さる	□ <sub>2</sub> 牛 ④ ギユウ うし	□ <sub>3</sub> 球 ⑪ キユウ たま
--	---------------------------------	--	---	---------------------------------------	---	--	---	--	--------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

□ <sub>2</sub> 兄 ⑤ キョウ △ケイ あに	け	□ <sub>3</sub> 君 ⑦ クン きみ	□ <sub>1</sub> 空 ⑧ △クウ そら △あく から	□ <sub>3</sub> 具 ⑧ グ	□ <sub>3</sub> 苦 ⑧ ク くるしい くるしむ くるしめる にが にがしい	□ <sub>3</sub> 区 ④ ク	く	□ <sub>3</sub> 銀 ⑭ ギン	□ <sub>1</sub> 金 ⑧ キン △コン かね かな	□ <sub>2</sub> 近 ⑦ キン ちかい
--	---	--------------------------------------	--	-------------------------------	--	-------------------------------	---	--------------------------------	---	---------------------------------------

□ <sub>2</sub> 元 ④ △ゲン もと	□ <sub>3</sub> 梟 ⑨ ケン	□ <sub>3</sub> 研 ⑨ ケン (トク)	□ <sub>1</sub> 見 ⑦ ケン みえる みせる	□ <sub>1</sub> 犬 ④ △ケン いぬ	□ <sub>1</sub> 月 ④ ゲツ つき	□ <sub>3</sub> 決 ⑦ ケツ きまる	□ <sub>3</sub> 血 ⑥ ケツ ち	□ <sub>3</sub> 軽 ⑫ ケイ (かるやか)	□ <sub>2</sub> 計 ⑨ ケイ はかる はからう	□ <sub>3</sub> 係 ⑨ ケイ かか かか	□ <sub>2</sub> 形 ⑦ ケイ △カタ かたち
---------------------------------------	--------------------------------	--	--	---------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	--	---	--	--

□ <sub>1</sub> 口 ③ △コウ クチ	□ <sub>2</sub> 語 ⑭ ゴ かた かた	□ <sub>2</sub> 後 ⑨ ゴ △コウ のち	□ <sub>2</sub> 午 ④ ゴ	□ <sub>1</sub> 五 ④ ゴ いつつ	□ <sub>3</sub> 湖 ⑫ コ みずうみ	□ <sub>3</sub> 庫 ⑩ コ (ク)	□ <sub>2</sub> 古 ⑤ △コ ふる ふるす	□ <sub>2</sub> 戸 ④ △コ と	こ	□ <sub>2</sub> 原 ⑩ ゲン はら	□ <sub>2</sub> 言 ⑦ △ゲン こと
---------------------------------------	---	--	-------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	---	-------------------------------------	---	--------------------------------------	---------------------------------------

□ <sub>3</sub> 幸 ⑧ コウ さいわい しあわせ	□ <sub>2</sub> 行 ⑥ コウ △アン いく おこなう	□ <sub>2</sub> 考 ⑥ △コウ かんがえる	□ <sub>3</sub> 向 ⑥ コウ むく むける むかう	□ <sub>2</sub> 光 ⑥ コウ ひかり	□ <sub>2</sub> 交 ⑥ コウ (かう) まじわる まじる まざる まざる	□ <sub>2</sub> 交 ⑥ コウ まじわる まじる まざる まざる	□ <sub>2</sub> 広 ⑤ △コウ ひろがる ひろめる ひろめる	□ <sub>2</sub> 公 ④ コウ (おおよけ)	□ <sub>2</sub> 工 ③ コウ
--	---	--	--	---------------------------------------	---	---	---	--	--------------------------------

□ <sub>2</sub> 今 ④ コン いま	□ <sub>2</sub> 黒 ⑪ コク くろ くろい	□ <sub>2</sub> 国 ⑧ コク くに	□ <sub>2</sub> 谷 ⑦ △コク たに	□ <sub>2</sub> 合 ⑥ △カッ ガウ あわす あわす	□ <sub>3</sub> 号 ⑤ ゴウ	□ <sub>3</sub> 港 ⑫ コウ みなと	□ <sub>2</sub> 黄 ⑪ △オウ コウ (キ)	□ <sub>2</sub> 高 ⑩ △コウ たかい たか たか たかめる	□ <sub>1</sub> 校 ⑩ コウ
--------------------------------------	---	--------------------------------------	---------------------------------------	---	--------------------------------	---------------------------------------	--	--	--------------------------------



□ <sub>2</sub> 算 ⑭ サン	□ <sub>1</sub> 山 ③ ヤマ	□ <sub>1</sub> 三 ③ ミ	□ <sub>3</sub> 皿 ⑤ さら	□ <sub>2</sub> 作 ⑦ つく	□ <sub>2</sub> 細 ⑪ こま	□ <sub>3</sub> 祭 ⑪ まつ	□ <sub>2</sub> 才 ③ サイ	□ <sub>1</sub> 左 ⑤ ひだり	さ	□ <sub>3</sub> 根 ⑩ ね
--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---	-------------------------------

□ <sub>2</sub> 思 ⑨ おも	□ <sub>2</sub> 姉 ⑧ あね	□ <sub>3</sub> 始 ⑧ はじめる	□ <sub>3</sub> 使 ⑧ つかう	□ <sub>1</sub> 糸 ⑥ いと	□ <sub>3</sub> 死 ⑥ しぬ	□ <sub>2</sub> 矢 ⑤ や	□ <sub>2</sub> 市 ⑤ いち	□ <sub>1</sub> 四 ⑤ よん	□ <sub>3</sub> 仕 ⑤ つかえる	□ <sub>2</sub> 止 ④ とどまる	□ <sub>1</sub> 子 ③ こ	し
--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---

□ <sub>1</sub> 七 ② なな	□ <sub>3</sub> 式 ⑥ しき	□ <sub>2</sub> 時 ⑩ とき	□ <sub>3</sub> 持 ④ もつ	□ <sub>3</sub> 事 ⑧ こと	□ <sub>2</sub> 自 ⑥ みづから	□ <sub>1</sub> 耳 ⑥ みみ	□ <sub>3</sub> 次 ⑥ つぎ	□ <sub>2</sub> 寺 ⑥ てら	□ <sub>1</sub> 字 ⑥ あじ	□ <sub>3</sub> 詩 ⑬ し	□ <sub>3</sub> 齒 ⑫ は	□ <sub>2</sub> 紙 ⑩ かみ	□ <sub>3</sub> 指 ⑨ さし
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

□ <sub>2</sub> 首 ⑨ くび	□ <sub>3</sub> 取 ⑧ とる	□ <sub>3</sub> 守 ⑥ まもる	□ <sub>3</sub> 主 ⑤ ぬし	□ <sub>1</sub> 手 ④ た	□ <sub>2</sub> 弱 ⑩ よわ	□ <sub>3</sub> 者 ⑧ もの	□ <sub>1</sub> 車 ⑦ くるま	□ <sub>2</sub> 社 ⑦ しゃ	□ <sub>3</sub> 写 ⑤ うつす	□ <sub>3</sub> 実 ⑧ み	□ <sub>2</sub> 室 ⑨ むろ
--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

□ <sub>3</sub> 重 ⑨ おも	□ <sub>3</sub> 住 ⑦ すむ	□ <sub>1</sub> 十 ② と	□ <sub>3</sub> 集 ⑫ あつまる	□ <sub>2</sub> 週 ⑪ しゅう	□ <sub>3</sub> 習 ⑪ ならう	□ <sub>3</sub> 終 ⑪ おわる	□ <sub>2</sub> 秋 ⑨ あき	□ <sub>3</sub> 拾 ⑨ ひろ	□ <sub>3</sub> 州 ⑥ す	□ <sub>3</sub> 受 ⑧ うける	□ <sub>3</sub> 酒 ⑩ さけ
--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

□ <sub>3</sub> 昭 ⑨ しやう	□ <sub>2</sub> 少 ④ すく	□ <sub>1</sub> 小 ③ ちい	□ <sub>3</sub> 助 ⑦ たす	□ <sub>1</sub> 女 ③ め	□ <sub>3</sub> 暑 ⑫ あつい	□ <sub>2</sub> 書 ⑩ か	□ <sub>3</sub> 所 ⑧ ところ	□ <sub>2</sub> 春 ⑨ はる	□ <sub>1</sub> 出 ⑤ で	□ <sub>3</sub> 宿 ⑪ やど
---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

□ <sub>3</sub> 植 ⑫ うゑ	□ <sub>2</sub> 食 ⑨ たべ	□ <sub>2</sub> 色 ⑥ いろ	□ <sub>2</sub> 場 ⑫ ば	□ <sub>3</sub> 乗 ⑨ の	□ <sub>1</sub> 上 ③ のぼ	□ <sub>3</sub> 勝 ⑫ か	□ <sub>3</sub> 章 ⑪ あき	□ <sub>3</sub> 商 ⑪ あき	□ <sub>3</sub> 消 ⑩ け
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

□1 人 ② ニン ひと	□2 親 ⑬ シン おや したしい したしい	□2 新 ⑬ シン あたらしい あたらしい	□1 森 ⑫ シン もり	□3 進 ⑪ シン すすむ すすめる	□3 深 ⑪ シン ふか ふかまる ふかめる	□3 真 ⑩ シン ま	□3 神 ⑨ シン かみ かみ かみ こう	□3 身 ⑦ シン み	□3 申 ⑤ シン もうす	□2 心 ④ シン こころ
--------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------	-----------------------------------	--	-------------------------	--	-------------------------	---------------------------	---------------------------

□2 西 ⑥ サイ にし	□1 生 ⑤ セイ せい	□1 正 ⑤ セイ ただしい ただしい	□3 世 ⑤ セイ よ	せ	□2 数 ⑬ スウ かず かぞえる	□1 水 ④ スイ みず	□2 凶 ⑦ トズ はかる	す
--------------------------	--------------------------	------------------------------------	-------------------------	---	----------------------------------	--------------------------	---------------------------	---

□2 雪 ⑪ セツ ゆき	□2 切 ④ セツ きる	□3 昔 ⑧ セキ むかし	□1 赤 ⑦ セキ あか あからむ あからむ	□1 石 ⑤ セキ いし	□1 夕 ③ セキ ゆう	□3 整 ⑬ セイ ととのえる ととのえる	□2 晴 ⑫ セイ はれる はらす	□2 星 ⑨ セイ ほし	□1 青 ⑧ セイ あおい	□2 声 ⑦ セイ こゑ こゑ
--------------------------	--------------------------	---------------------------	--	--------------------------	--------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------------

□1 草 ⑨ ソウ くさ	□3 相 ⑨ ソウ あい	□2 走 ⑦ ソウ はしる	□1 早 ⑥ ソウ はやい はやまる はやまる	□2 組 ⑪ ソウ くみ	そ	□2 前 ⑨ ゼン まえ	□3 全 ⑥ ゼン まったく すべて	□2 線 ⑮ ゼン せん	□2 船 ⑪ セン ふね	□1 先 ⑥ セン さき	□1 川 ③ セン かわ	□1 千 ③ セン ち
--------------------------	--------------------------	---------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------	-----------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------

□3 対 ⑦ タイ たい	□2 太 ④ タイ ふと ふと	□3 打 ⑤ ダ うつ	□2 多 ⑥ ダ おおい	□3 他 ⑤ ダ ほか	た	□1 村 ⑦ ソン むら	□3 族 ⑪ ゾク ぞく	□3 速 ⑩ ソク はやい はやまる はやまる すみやか	□3 息 ⑩ ソク いき	□1 足 ⑦ ソク あし	□3 想 ⑬ ソウ おもひ	□3 送 ⑨ ソウ おく
--------------------------	--------------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	---	--------------------------	--------------------------	---	--------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------

□2 地 ⑥ ヂ ち	□3 談 ⑮ ダン だん	□1 男 ⑦ ダン おとこ	□3 短 ⑫ タン みじかい	□3 炭 ⑨ タン すみ	□3 題 ⑮ ダイ だい	□3 第 ⑪ ダイ だい	□2 台 ⑤ ダイ だい	□3 代 ⑤ ダイ しろ	□1 大 ③ ダイ おおい	□3 待 ⑨ タイ まつ	□2 体 ⑦ タイ からだ
------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------

□1 町 ⑦ チヨウ まち	□3 丁 ② チヨウ てい	□3 柱 ⑨ チュウ はしら	□2 昼 ⑨ チュウ ひる	□3 注 ⑧ チュウ そそぐ	□1 虫 ⑥ チュウ むし	□1 中 ④ チュウ なか	□3 着 ⑫ チャク きる きる つける	□2 茶 ⑨ チャ ちや	□1 竹 ⑥ チク たけ	□2 知 ⑧ チ しる	□2 池 ⑥ チ いけ
---------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	--	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------

□ <sub>2</sub> 弟 (7) おとと (テイ) ダイ	て	□ <sub>2</sub> 通 (10) かよう とおす (ツ) おる	□ <sub>3</sub> 追 (9) おう ツイ	つ	□ <sub>2</sub> 直 (8) な おる あた ち シキ チヨウ	□ <sub>3</sub> 調 (15) る あ の う チヨウ し ら べ る	□ <sub>2</sub> 朝 (12) あ さ チヨウ	□ <sub>2</sub> 鳥 (11) と り チヨウ	□ <sub>3</sub> 帳 (11) チヨウ	□ <sub>2</sub> 長 (8) なが い チヨウ
---	---	--	--	---	---	--	--	--	------------------------------------	--

□ <sub>1</sub> 土 (3) つち	□ <sub>3</sub> 都 (11) みやこ ツト	と	□ <sub>2</sub> 電 (13) デン	□ <sub>1</sub> 田 (5) た デン	□ <sub>3</sub> 転 (11) ころが る ころが す テ ン	□ <sub>2</sub> 点 (9) テン	□ <sub>2</sub> 店 (8) み せ テ ン	□ <sub>1</sub> 天 (4) あ め あ め テ ン	□ <sub>3</sub> 鉄 (13) テツ	□ <sub>3</sub> 笛 (11) ふ え テ キ	□ <sub>3</sub> 庭 (10) に わ テ イ	□ <sub>3</sub> 定 (8) さ だ め る さ だ ま る ジ ヨウ (さ だ か)
----------------------------------	--	---	-----------------------------------	---------------------------------------	---	----------------------------------	--	--	-----------------------------------	---	---	--

□ <sub>3</sub> 等 (12) ひと しい	□ <sub>2</sub> 答 (12) こた え こ た え る △ トウ	□ <sub>3</sub> 登 (12) の ぼ る トウ	□ <sub>3</sub> 湯 (12) ゆ トウ	□ <sub>3</sub> 島 (10) しま トウ	□ <sub>2</sub> 東 (8) ひ が し トウ	□ <sub>3</sub> 豆 (7) ま め ズ トウ	□ <sub>3</sub> 投 (7) な げ る トウ	□ <sub>2</sub> 当 (6) あ て る あ て る トウ	□ <sub>2</sub> 冬 (5) ふ ゆ △ トウ	□ <sub>2</sub> 刀 (2) か た な △ トウ	□ <sub>3</sub> 度 (9) た び (ト) (タ ク)
---	---	--	--	---	---	---	---	--	---	--	---

□ <sub>2</sub> 肉 (6) ニク	□ <sub>1</sub> 二 (2) ふ た つ ニ	に	□ <sub>2</sub> 南 (9) み な み △ ナ ン	□ <sub>2</sub> 内 (4) うち (ダイ) ナイ	な	□ <sub>2</sub> 読 (14) よ む △ ド ク	□ <sub>2</sub> 道 (12) み ち (トウ) ドウ	□ <sub>3</sub> 童 (12) わ ら べ (ドウ) ドウ	□ <sub>3</sub> 動 (11) う ご か す う ご か す ドウ	□ <sub>2</sub> 同 (6) お な じ △ ドウ	□ <sub>2</sub> 頭 (16) あ たま (ト) (ス) △ トウ (か し ら)
----------------------------------	--	---	--	--	---	--	---	--	---	--	--

□ <sub>2</sub> 買 (12) か う △ バ イ	□ <sub>3</sub> 倍 (10) バ イ	□ <sub>2</sub> 売 (7) う れ る う れ る △ バ イ	□ <sub>3</sub> 配 (10) く ば る ハ イ	□ <sub>2</sub> 馬 (10) う ま △ ま	□ <sub>3</sub> 波 (8) な み ハ	は	□ <sub>3</sub> 農 (13) ノ ウ	の	□ <sub>1</sub> 年 (6) と し ネ ン	ね	□ <sub>1</sub> 入 (2) い れ る い れ る ニ ユウ	□ <sub>1</sub> 日 (4) か ひ ジ ツ
--	---------------------------------------	---	--	---	---	---	---------------------------------------	---	--	---	---	--

□ <sub>2</sub> 番 (12) バ ン	□ <sub>3</sub> 板 (8) い た バ ン	□ <sub>3</sub> 坂 (7) さ か (ハ ン)	□ <sub>2</sub> 半 (5) な か ば △ ハ ン	□ <sub>3</sub> 反 (4) そ ら す (ソ ラ ス) △ ハ ン	□ <sub>3</sub> 発 (9) よ う や つ つ (ハ ツ)	□ <sub>1</sub> 八 (2) ハ チ	□ <sub>3</sub> 畑 (9) は た け ハ タ	□ <sub>3</sub> 箱 (15) は こ	□ <sub>2</sub> 麦 (7) む ぎ (バ ク)	□ <sub>1</sub> 白 (5) し ら い △ ハ ク (ビ ヤ ク)
---------------------------------------	--	--	--	---	---	--------------------------------------	---	---------------------------------------	--	---

□ <sub>2</sub> 父 (4) ち ち △ フ	ふ	□ <sub>3</sub> 品 (9) し な ヒ ン	□ <sub>3</sub> 病 (10) や ま い (ハ イ) △ ビ ヨウ	□ <sub>3</sub> 秒 (9) ビ ヨウ	□ <sub>3</sub> 表 (8) あ ら わ す る あ ら わ す る △ ヒ ヨウ	□ <sub>3</sub> 氷 (5) こ お り △ ヒ ヨウ	□ <sub>1</sub> 百 (6) ヒ ヤク	□ <sub>3</sub> 筆 (12) ふ で ヒ ツ	□ <sub>3</sub> 鼻 (14) は な △ ヒ	□ <sub>3</sub> 美 (9) う つ く し い ヒ	□ <sub>3</sub> 悲 (12) か な し い △ ヒ	□ <sub>3</sub> 皮 (5) か わ △ ヒ	ひ
--	---	--	--	---------------------------------------	--	---	---------------------------------------	---	---	--	---	--	---



□ <sub>3</sub> 平 ⑤ へい ヒヨウ ひら	□ <sub>2</sub> 聞 ⑭ きこ モン きこえる	□ <sub>1</sub> 文 ④ モン モン ふみ	□ <sub>2</sub> 分 ④ フ フン わか わかる わかる	□ <sub>3</sub> 物 ⑧ ブツ もの	□ <sub>3</sub> 福 ⑬ フク	□ <sub>3</sub> 服 ⑧ フク	□ <sub>2</sub> 風 ⑨ フウ かせ	□ <sub>3</sub> 部 ⑪ ブ	□ <sub>3</sub> 負 ⑨ マ フ おま かける かす
---	--	--	---	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	---

□ <sub>1</sub> 本 ⑤ ホン もと	□ <sub>1</sub> 木 ④ キ モク	□ <sub>2</sub> 北 ⑤ キタ ホク	□ <sub>3</sub> 放 ⑧ ホウ はな はなつ はなす ほう はなれる	□ <sub>2</sub> 方 ④ ホウ かた	□ <sub>2</sub> 母 ⑤ ハハ はは	□ <sub>2</sub> 歩 ⑧ ホ ある あゆく あほ あはむ	□ <sub>3</sub> 勉 ⑩ ベン	□ <sub>3</sub> 返 ⑦ ヘン かえ かえす	□ <sub>2</sub> 米 ⑥ メイ こめ
--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------	---	--------------------------------------

□ <sub>2</sub> 鳴 ⑭ メイ なく な ならす	□ <sub>2</sub> 明 ⑧ メイ い いのち	□ <sub>3</sub> 命 ⑧ メイ な	□ <sub>1</sub> 名 ⑥ メイ な	□ <sub>3</sub> 味 ⑧ ミ あじ あじわう	□ <sub>2</sub> 万 ③ マン ばん	□ <sub>2</sub> 妹 ⑧ マイ いも いもつと	□ <sub>2</sub> 毎 ⑥ マイ	□ <sub>2</sub> ま
--	--	-------------------------------------	-------------------------------------	---	--------------------------------------	--	--------------------------------	---------------------

□ <sub>3</sub> 由 ⑤ ユ よし ユウ	□ <sub>3</sub> 薬 ⑬ ヤク くすり	□ <sub>3</sub> 役 ⑦ ヤク やく	□ <sub>2</sub> 野 ⑪ ノ の	□ <sub>2</sub> 夜 ⑧ ヤ よる よ	□ <sub>3</sub> 問 ⑪ モン とん どう	□ <sub>2</sub> 門 ⑧ モン かど	□ <sub>1</sub> 目 ⑤ メ ま	□ <sub>2</sub> 毛 ④ モウ け	□ <sub>3</sub> 面 ⑨ メン おもて つら
---	---------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	--	--	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	---

□ <sub>2</sub> 曜 ⑱ ヨウ	□ <sub>3</sub> 様 ⑭ ヨウ さま	□ <sub>3</sub> 陽 ⑫ ヨウ	□ <sub>3</sub> 葉 ⑫ ヨウ は	□ <sub>3</sub> 洋 ⑨ ヨウ	□ <sub>3</sub> 羊 ⑥ ヨウ ひつじ	□ <sub>2</sub> 用 ⑤ ヨウ もち いる	□ <sub>3</sub> 予 ④ ヨ	□ <sub>3</sub> 遊 ⑫ ユ あそぶ	□ <sub>3</sub> 有 ⑥ ユ ある	□ <sub>2</sub> 友 ④ ユウ とも	□ <sub>3</sub> 油 ⑧ ユ あぶら
--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	--	-------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

□ <sub>1</sub> 林 ⑧ リン はやし	□ <sub>3</sub> 緑 ⑭ リョク みどり	□ <sub>1</sub> 力 ② リキ ちから	□ <sub>3</sub> 両 ⑥ リョウ	□ <sub>3</sub> 旅 ⑩ リョ たび	□ <sub>3</sub> 流 ⑩ リュウ なが ながれる	□ <sub>1</sub> 立 ⑤ リツ たつ たてる	□ <sub>2</sub> 理 ⑪ リ	□ <sub>2</sub> 里 ⑦ リ さと	□ <sub>3</sub> 落 ⑫ ラク おち おちす	□ <sub>2</sub> 来 ⑦ ライ くる きたる きたす	□ <sub>2</sub> ら
---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---	---	-------------------------------	-------------------------------------	---	--	---------------------

□ <sub>2</sub> 話 ⑬ ワ はなし	□ <sub>3</sub> 和 ⑧ ワ なご やか やわ やわらぐ やわらげ	□ <sub>1</sub> 六 ④ ロク むい むつ むつ	□ <sub>3</sub> 路 ⑬ ロ じろ	□ <sub>3</sub> ろ	□ <sub>3</sub> 練 ⑭ レン ねる	□ <sub>3</sub> 列 ⑥ レツ	□ <sub>3</sub> 礼 ⑤ レイ らい	□ <sub>3</sub> れ
--------------------------------------	---	--	-------------------------------------	---------------------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	---------------------



35 類 18画

種類種類種類  
ルイ 分類 人類  
たぐい 類いまねな歌声

35 順 12画

順順順順順順  
ジュン 手順 道順

37 愛 13画

愛愛愛愛愛愛  
アイ 愛読書 愛知

37 昨 9画

昨昨昨昨昨昨  
サク 昨夜 昨年度

37 城 9画

城城城城城城  
ジョウ 城下町  
しろ お城  
◆宮城  
◆茨城

40 覚 12画

覚覚覚覚覚覚  
カク 感覚 自覚  
おぼえる 漢字を覚える  
さます 目覚まし時計  
さめる 目が覚める

聞き取りメモのくふう

40 伝 6画

伝伝伝伝伝伝  
デン 伝記 伝説  
つたわる 昔話が伝わる  
つたえる 思いを伝える  
つたう 屋根を伝う

41 説 14画

説説説説説説  
セツ (ゼイ) 説明 解説  
とく 教えを説く

41 好 6画

好好好好好好  
コウ 友好 好意  
このむ 花を好む  
すく 好きな本

42 印 6画

印印印印印印  
イン 印象 消印  
しるし 目印 矢印

42 要 9画

要要要要要要  
ヨウ 要点 重要  
かなめ チームの要  
(いる)

43 的 8画

的的的的的的  
テキ 目的 科学的  
まど 的をねらう

43 必 5画

必必必必必必  
ヒツ 必要 必死  
かならず 必ずしも

思いやりのデザイン  
アップとルーズで伝える

48 初 7画

初初初初初初  
シヨ 最初 初日  
はじめ 初め  
はじめて 初めてのこと  
はつ 初耳 初雪  
(うい)  
(そめる)

48 案 10画

案案案案案案  
アン 案内 名案

48 街 12画

街街街街街街  
ガイ (カイ) 商店街 市街  
まち 街角

50 試 13画

試試試試試試  
シ 試合 試食  
こころみる 実験を試みる  
(ためす)

50 選 15画

選選選選選選  
セン 選手  
えらぶ 方法を選ぶ

50 観 18画

観観観観観観  
カン 観客席 観点

50 静 14画

静静静静静静  
セイ (ジヨウ) 安静 静止  
しず 静岡  
しずか 静かな会場  
しずまる 教室が静まる  
しずめる 気を静める

53 旗 14画

旗旗旗旗旗旗  
キ 国旗 校旗  
はた 旗をふる

54 材 7画

材材材材材材  
ザイ 取材 題材

カンジーはかせの  
都道府県の旅1

61 枅 9画

枅枅枅枅枅枅  
トチ 枅木





80 特 10画

トク 特特特特特  
特別 特色

つなぎ言葉の  
はたらきを知ろう

82 夫 4画

夫夫夫夫  
夫人 工夫 夫と出かける

82 衣 6画

イ (ころも) 衣料品 衣服

82 氏 4画

シ (うじ) 氏氏氏氏 野田氏

82 祝 9画

シユク (シユウ) 祝祝祝祝祝 祝日 祝福 卒業を祝う

83 徒 10画

ト 徒徒徒徒徒徒 徒競走 徒歩

83 競 20画

競競競競競競 徒競走 競争 草競馬

要約するとき

86 約 9画

ヤク 約約約約約 要約 節約

新聞を作ろう

93 清 11画

セイ (シヨウ) 清清清清清清 清書 清流 清い心

93 完 7画

カン 完完完完完完 完成 完全

96 法 8画

ハウ (ハツ) (ホツ) 法法法法法法 方法 用法

カンジーはかせの  
都道府県の旅2

98 滋 12画

ジ (ジ) 滋滋滋滋滋滋 滋賀

98 阪 7画

ハン (ハン) 阪阪阪阪阪阪 大阪

99 徳 14画

トク 徳徳徳徳徳徳 徳島 道徳

99 香 9画

カウ (コウ) 香香香香香香 香川

99 佐 7画

カ (キョウ) 佐佐佐佐佐佐 佐賀 補佐

99 賀 12画

ガ 賀賀賀賀賀賀 佐賀 年賀

99 崎 11画

サキ 崎崎崎崎崎崎 長崎 宮崎

99 熊 14画

くま 熊熊熊熊熊熊 熊本

99 沖 7画

チユウ (チユウ) 沖沖沖沖沖沖 沖繩

99 縄 15画

シヨウ (シヨウ) 縄縄縄縄縄縄 沖繩

99 媛 12画

エン (エン) 媛媛媛媛媛媛 愛媛

99 鹿 11画

しか 鹿鹿鹿鹿鹿鹿 鹿の親子 鹿児島

事実にもとづいて書かれ  
た本を読もう  
ランドセルは海をこえて

105 未 5画

ミ 未未未未未未 未知

105 希 7画

キ 希希希希希希 希望

105  
望  
11画

望望望望望望望望  
ボウ 希望 一望  
(モウ)  
のぞむ 望みがかなう

108  
民  
5画

民民民民民  
ミン  
(たみ)  
民族 市民

111  
働  
13画

働働働働働働働働  
ドウ  
はたらく 働き手 労働

113  
健  
11画

健健健健健健健健  
ケン  
(すこやか)  
健康 健全

113  
康  
11画

康康康康康康康康  
コウ  
健康

118  
散  
12画

あなたなら、どう言う

散散散散散散散散  
サン  
ちる 散歩 分散  
ちらす 花が散る  
ちらかす ほり散らす  
ちらかる 紙を散らかす  
紙が散らかる

119  
令  
5画

令令令令令令  
レイ 命令 号令

パンフレットを読もう

121  
位  
7画

位位位位位位位位  
イ  
くらい 十の位 位置 一位

121  
置  
13画

置置置置置置置置  
チ  
おく 位置 配置 物を置く

いろいろな意味をもつ言葉

124  
欠  
4画

欠欠欠欠欠欠欠欠  
ケツ  
かける 出欠 欠席  
かく 月が欠ける 決め手を欠く

124  
満  
12画

満満満満満満満満  
マン  
みちる 満点 満足  
みたす 月が満ちる 水を満たす

124  
栄  
9画

栄栄栄栄栄栄栄栄  
エイ 栄養 光荣  
さかえる 町が栄える  
(はえ)  
(はえる)

124  
養  
15画

養養養養養養養養  
ヨウ 栄養 静養  
やしなう 家族を養う

125  
卒  
8画

卒卒卒卒卒卒卒卒  
ソツ 卒業式

125  
単  
9画

単単単単単単単単  
タン 単行本 単位

125  
結  
12画

結結結結結結結結  
ケツ  
むすぶ 結果 結局  
(ゆう)  
(ゆわえる)

125  
果  
8画

果果果果果果果果  
カ 結果 果実  
はたす 役目を果たす  
はてる つかれ果てる  
はて 地平線の果て

125  
漁  
14画

漁漁漁漁漁漁漁漁  
ギョ 漁業 漁港  
リヨウ 漁に出る

125  
径  
8画

径径径径径径径径  
ケイ 直径 半径

125  
副  
11画

副副副副副副副副  
フク 副大臣

125  
臣  
7画

臣臣臣臣臣臣臣臣  
シン ジン 大臣 臣下 副大臣

125  
梅  
10画

梅梅梅梅梅梅梅梅  
バイ 梅園  
うめ 梅の実

125  
灯  
6画

灯灯灯灯灯灯灯灯  
トウ (ひ) 街灯 点灯

125  
貨  
11画

貨貨貨貨貨貨貨貨  
カ 百貨店 金貨





# 言葉のたから箱

## 考えや気持ちを伝える言葉

人物や出来事について説明するときや、自分の考えや感想を伝えるときに役立てましょう。

### 人物を表す言葉

- ゆうかん
- 熱心
- たのもし
- あっさり
- さっぱり
- つんとした
- 気弱
- 短気
- いいかげん
- おさない

### 物や事からの様子を表す言葉

- すばらしい
- みりよくがある
- くらべものに
- ならない
- 言うことなし
- 二つとない
- 特色のある
- 望ましい
- 予想どおり
- 身近

### 考え方を表す言葉

- 親しみのある
- たしか
- ゆたか
- 大げさ
- かすか
- わずか
- かるやか

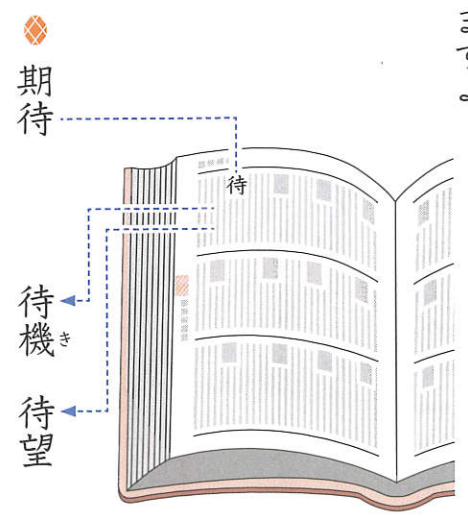
- どちらが——かというど
- は、——をふくむ
- の点では——
- に対しては——
- もし——なら
- まとめると
- つまり——

### 気持ちを表す言葉

- むちゆう
- 打ちこむ
- 期待
- 引きつけられる
- 心温まる
- 感動
- 関心をもつ
- うかれる
- 気はずかしい
- 注意
- がっかり
- 苦手
- にくい
- なやむ
- しぶしぶ
- いい気がしない
- おそれる
- じれったい
- 心が動く
- おねがいっぱいになる
- かたの力をぬく
- 気を引きしめる
- 頭をかかえる
- あつけにとられる

### 漢字辞典を使おう

「考えや気持ちを伝える言葉」の中から、気に入った言葉に使われている漢字を調べてみましょう。漢字の読み方や意味とともに、その漢字を使った他の言葉を知ることができそうです。



国語の学習で、よく使われる言葉です。意味や使い方をたしかめて、学習に役立てましょう。

## かじよう書き

事がらを、短く、一つ一つ分けて書きならべる書き方のこと。「①」「②……」など、記号や数字を用いることが多い。

自分が話したり書いたりするためのじゅんびのメモや、何かを説明するための資料などで、かじよう書きを使うと、伝えたい事がらの全体や順序がとらえやすくなる。

42ページ

## 要点

物事や人の話などの中心となる、大事な事がらのこと。

話したり書いたりするとき、短い言葉や文で要点をはっきりと表すと、伝えたいことが伝わりやすくなる。

文章や話の要点となる言葉を見つけると、その人が何を伝えたいのかがよく理解できる。

42ページ

## 対比

二つのものを比べて、ちがいははっきりさせること。

対比して説明することで、それぞれのしているところやちがうところ、長所や短所などが分かりやすくなる。

49ページ

## 設定

時（いつの話か）、場所（どこの話か）、登場人物（だれが出てくる話か）など、その物語全体に関わることをいう。物語の始まりに書かれていることが多い。

設定を的確に読み取ることで、人物の変化や出来事の意味をとらえやすくなる。

78ページ

## 要約

目的や必要におうじて、話や本、文章の内容を短くまとめること。元の文章の組み立てや表現をいかしてまとめるものと、自分の言葉に言いかえてまとめるものがある。

要約すると、長い文章などでも、短くまとめて伝えることができる。

86ページ

## 見出し

文章のまとまりの初めに置かれる、要点を短くまとめた言葉。

見出しを見ると、そのまとまりの大まかな内容が分かる。

89ページ

## 取材

知りたいことなどについて、さまざまな方法で調べて材料を集めること。実際に見たり聞いたりする、本やインターネットで調べる、アンケート調査をするなどの方法がある。

取材をして分かったことは、伝える内容や考えをたしかにしたり、おぎなったりするのに役立つ。

90ページ

## わりつけ

新聞などで、記事や見出し、写真・図などの大きさと、入れる場所を決めること。

新聞やポスター、パンフレットなどを参考にして、最も伝えたいことを大きくあつかうなど、わりつけを工夫するとよい。

91ページ

## アンケート調査

多くの人に同じしつもんをして調べる方法。答えを書きこんでもらったり、用意した答えの中から選んでもらったりする。

アンケート調査の結果をまとめると、一度に多くの人の考えや様子を知ることができる。

96ページ

## これまでに学んだ言葉

### 引用

他の人が言ったことや、本などに書かれていることを、自分の話や文章の中で使うこと。

### 会話文と地の文

かぎ（「」）でしめしている登場人物の言葉を会話文といい、他のところを地の文という。

### 語り手

物語の地の文を語る人。人物の行動や気持ち、場面の様子などを語りながら、話を進めていく。

### 段落

文章を組み立てている、事がらごとの内容のまとまり。初めを一字下げて表す。



編集委員

甲斐陸朗 元国立国語研究所長  
高木まさき 横浜国立大学大学院教授

青山由紀 筑波大学附属小学校教諭  
赤木雅宣 ノートルダム清心女子大学教諭

阿辻哲次 京都大学名誉教授  
阿部昇 秋田大学特別教授

池上彰 ジャーナリスト  
石井陸美 作家

石黒圭 国立国語研究所教授  
稲田八穂 筑紫学園大学教授

井上一郎 前京都女子大学教授  
浮田真弓 岡山大学教授

内田伸子 お茶の水女子大学名誉教授  
岡田博元 お茶の水女子大学附属小学校教諭

甲斐雄一郎 筑波大学教授  
鹿毛雅治 慶應義塾大学教授

桂聖 筑波大学附属小学校教諭

茅野政徳 山梨大学教職大学院准教授  
工藤直子 作家

鴻上尚史 作家・演出家  
輿水かおり 前玉川大学客員教授

佐渡島紗織 早稲田大学教授  
達富洋二 佐賀大学教授

田中洋一 東京女子体育大学教授  
棚橋尚子 奈良教育大学教授

土山和久 大阪教育大学教授  
永池啓子 横浜国立大学講師

中川一史 放送大学教授  
中川李枝子 作家

中村桂子 生命誌研究館館長  
長谷浩也 環太平洋大学教授

蜂飼耳 詩人・作家  
原田義則 鹿児島大学大学院准教授

藤森裕治 信州大学学術研究院教授

細川太輔 東京学芸大学教職大学院准教授  
三浦登志一 山形大学学術研究院教授

邑上裕子 明星大学客員教授  
森 篤嗣 京都外国語大学教授

森山卓郎 早稲田大学教授  
吉永幸司 前京都女子大学教授

カラーユニバーサルデザインに関する校関  
市原恭代 工学院大学准教授  
NPO法人カラーユニバーサル  
デザイン機構(CUDO)理事

特別支援教育に関する校関  
佐島毅 筑波大学准教授

学習のユニバーサルデザインに関する校関  
小貫悟 明星大学教授

光村図書出版株式会社編集部

アート・ディレクション/デザイン 図工室(坂 啓典/近田宏生/堀ノ内達也)  
表紙絵 大野八生 とびら詩 羽曾部 忠 とびら絵 原田マサミ  
さし絵 浅倉田美子/上垣厚子/おうみかずひろ/川口澄子/川村 易/河原崎秀之/斉藤みお/さこうしんじ/たかおかゆみこ/タケウマ  
タラジロウ/土居香桜里/Hana-House/原田マサミ/三木麻郁  
書き文字 樋口咲子  
写真 アフロ/アマナイメーجز/荒川区立ゆいの森あらかわ/Jリーグメディアプロモーション/仙台七夕まつり協賛会/長岡博史/  
読売新聞社

国語 四 上 かがやき

38光村 国語407 小学校国語科用

年月 日印刷  
年月 日発行  
(平成三十一年二月二十五日検定済)

定価 文部科学大臣が認可し官報で告示した定価  
(右記の定価は、各教科書取次供給所に表示  
します。)

この教科書にもとづくワークブック・解説書、  
ならびにこれに類するものの無断発行を禁じます。

ISBN978-4-138-0070-5

著作者

甲斐陸朗 ほか四十三名別記

発行者

光村図書出版株式会社

代表者 小泉 茂

東京都品川区上大崎二十九九

印刷者

協和オフセット印刷株式会社

代表者 嶋 三津夫

東京都港区浜松町一・三一

発行者

光村図書出版株式会社

東京都品川区上大崎二十九九

電話(〇三三)三四九三二二一(代表)



ISBN978-4-8138-0070-5  
C4381 ¥00000E



9784813800705



1924381000000

保護者の皆様へ

この教科書は、これからの社会を生きる子どもたちが、言葉に出会う喜びや、人とつながる楽しさを実感しながら、確かな「言葉の力」を身につけることを願って編集したものです。ご家庭においても、この教科書を子どもたちと語り合うきっかけとしてご活用ください。

この教科書は、次のような配慮や工夫をしています。

- カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。
- 児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。
- 単元名や見出しには、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。
- 環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。



この教科書では、学習の参考となる動画などの資料を小社ウェブサイトを用意し、その箇所には二次元コードを示しています。機種やインターネット環境等によってはアクセスできないことがあります。また、通信料が発生する場合があります。読み取れない場合は、下記のURLをご参照ください。



<https://m-manabi.jp/20/qr/k4/>

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。



光村図書

四年

組

